



Cisco Unified IP Conference Station 7936 アドミニストレーション ガイド for Cisco Unified CallManager 5.0

(Cisco Model Number CP-7936)

Text Part Number: OL-10751-01-J



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

以下の情報は Class B 装置の FCC 適合に関するものです。このマニュアルで解説している装置は、無線周波エネルギーを発生し、また放射することもあります。シスコのインストールに関する指示に従って設置されない場合には、ラジオやテレビの受信に干渉を起こす可能性があります。この装置は、テスト済みであり、FCC ルールの Part 15 に記載されている仕様に基づく Class B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。この仕様では、住居に設置した場合にこのような干渉が起きないようにしています。ただし、特定の設置条件で干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコによる書面での認可なしに装置に対して変更を行うと、Class A または Class B デジタル装置に要求される FCC への適合ができません可能性があります。この場合、装置の使用権限は FCC 規制によって制限され、ユーザ側の費用でラジオまたはテレビへの干渉防止措置を講じなければならない場合があります。

装置の電源を切ることによって、装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺装置が原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- ・干渉がなくなるまでテレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- ・テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動します。
- ・テレビまたはラジオから離れた場所に装置を移動します。
- ・テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビ / ラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

シスコより認められていない変更をこの製品に対して行った場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作するユーザの権限を失うことになります。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリックドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Cisco Unified IP Conference Station 7936 アドミニストレーションガイド for Cisco Unified CallManager 5.0
Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.



このマニュアルについて	ix
概要	ix
対象読者	ix
目的	x
マニュアルの構成	x
関連マニュアル	xi
技術情報の入手方法	xii
Cisco.com	xii
Documentation CD-ROM (英語版)	xii
マニュアルの発注方法 (英語版)	xiii
シスコシステムズマニュアルセンター	xiii
シスコ製品のセキュリティの概要	xiv
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	xv
テクニカル サポート	xvi
Cisco TAC Web サイト	xvi
Japan TAC Web サイト	xvii
TAC での事例の検索	xvii
TAC 優先レベルの定義	xviii
その他の資料および情報の入手方法	xix
表記法	xx

CHAPTER 1

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の概要	1-1
ネットワークング プロトコル	1-2
サポートしている機能	1-4
使用可能な接続	1-5
他の Cisco Unified IP Telephony 製品との相互動作の概要	1-5
Cisco Unified IP Conference Station 7936 と Cisco Unified CallManager との相互動作の概要	1-5
起動プロセスの概要	1-6
Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置とセットアップの要件	1-8

CHAPTER 2

Cisco Unified IP Conference Station 7936 のセットアップ	2-1
設置の準備	2-2
デフォルトの装置ロードの設定	2-2
新しい装置の追加	2-3
自動登録の使用方法	2-4
Cisco Unified IP Conference Station の手動による追加	2-6
DHCP の使用	2-6
静的 IP アドレスの割り当て	2-7
Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置	2-9
パッケージの内容	2-9
ネットワーク要件	2-9
Cisco Unified CallManager の設定	2-10
安全上の注意事項	2-10
設置およびネットワークとの接続	2-13
起動プロセスの確認	2-17
起動時のネットワーク設定値の設定	2-18

最適なパフォーマンスを得るためのガイドライン	2-18
会議室のセットアップの例	2-20
Cisco Unified IP Conference Station 7936 の使用方法	2-21
機能の概要	2-22
キーボード コマンドの使用	2-25

CHAPTER 3

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定	3-1
管理者オプション	3-2
システム設定値の確認	3-4
ネットワーク設定値へのアクセス	3-9
DHCP 設定の変更	3-10
DHCP を使用可能にする	3-10
DHCP を使用不可にする	3-10
IP 設定値の設定	3-11
静的 IP アドレスの割り当て	3-12
サブネット マスクの割り当て	3-13
デフォルト ゲートウェイの割り当て	3-14
ドメイン名の割り当て	3-15
DNS サーバの割り当て	3-16
VLAN オプションの設定	3-16
代替 TFTP オプションの設定	3-17
代替 TFTP サーバの使用方法	3-17
TFTP サーバのアドレスの割り当て	3-18
イーサネット ポート設定の割り当て	3-19
HTTP ポートの設定	3-20
ファームウェア バージョン情報の確認	3-21
Cisco Unified IP Conference Station のリセット	3-22

ローカル設定の消去	3-23
デフォルト設定値	3-24
アプリケーション ロードのアップグレード	3-29
管理者パスワードの変更	3-31
Diagnostics メニューの使用方法	3-32
Settings メニューでの設定変更	3-33
コントラスト設定の変更	3-33
バックライト設定の変更	3-33
呼び出し音の種類の設定の変更	3-34
時刻形式の設定の変更	3-35
日付形式の設定の変更	3-35
社内ディレクトリの設定	3-37
Cisco Unified CallManager の設定	3-37
社内ディレクトリの使用方法	3-37
ローカル ディレクトリの設定	3-40
電話帳の使用	3-40
その他の機能	3-42
Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス	3-44
Web インターフェイスの説明	3-44
Web インターフェイスの使用方法	3-44
すべての Web ページで使用可能な情報	3-45
管理者が行う設定	3-46
System Information	3-46
Network Setup	3-48
Phone Book	3-49
Sounds	3-51

Time & Date	3-52
Diagnostics	3-53
Passwords/HTTP Port Change	3-53
Restore Factory Defaults	3-55

CHAPTER 4**Cisco Unified IP Conference Station 7936 のトラブルシューティング** 4-1

ネットワーク統計情報の表示	4-2
ping の使用方法	4-4
その他のトラブルシューティング情報	4-5

APPENDIX A**Cisco Unified IP Conference Station 7936 の技術仕様** A-1

物理仕様と動作環境仕様	A-2
ケーブル仕様	A-2

APPENDIX B**安全上の警告の各国語版** B-1

INDEX**索引**



このマニュアルについて

概要

『Cisco Unified IP Conference Station 7936 アドミニストレーションガイド for Cisco Unified CallManager 5.0』は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 をネットワーク上にインストールして、設定および運営するために必要な情報を提供しています。

対象読者

本書は、ネットワーク技術者、システム管理者、または電気通信技術者を対象としており、ネットワーク上に Cisco Unified IP Conference Station を適切にセットアップするのに必要な手順を説明しています。

本書で説明している作業は、管理レベルの作業であり、Cisco Unified IP Conference Station のエンド ユーザを対象にしたものではありません。作業の多くは、ネットワーク設定値の指定に関するもので、これらの値はネットワーク上の Cisco Unified IP Conference Station の機能に影響を及ぼします。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 および Cisco Unified CallManager は密接な関わりがあるため、ここで記載する作業を実施するには、Cisco Unified CallManager に関する幅広い知識が必要です。Cisco Unified IP Conference Station 7936 でサポートされている Cisco Unified CallManager のバージョンは、5.0、4.2(1)、4.1(3)、4.0(1)、および 3.3(5) です。

目的

本書は、Voice over IP (VoIP) ネットワーク上で Cisco Unified IP Conference Station 7936 を操作するために必要な全ステップを説明しています。Cisco Unified CallManager またはその他のネットワーク デバイスで実行する詳細な手順を記載するものではありません。Cisco Unified CallManager の設定については、Cisco Unified CallManager の関連資料を参照してください。また、お客様のサイトにあるその他のネットワーク デバイスの設定については、付属の資料を参照してください。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章番号	説明
第 1 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の概要」	ネットワーク プロトコル、機能、および接続方法の検討に加えて、その他の Cisco IP Telephony 製品との相互関係の把握
第 2 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置」	Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置
第 3 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定」	Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定
第 4 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 のトラブルシューティング」	Cisco Unified IP Conference Station 7936 のトラブルシューティングおよび診断
付録 A「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の技術仕様」	Cisco Unified IP Conference Station 7936 の技術仕様の検討
付録 B「安全上の警告の各国語版」	Cisco Unified IP Conference Station を正しく設置するために必要な安全上の警告の各国語版の参照

関連マニュアル

Cisco Unified IP Conference Station または Cisco Unified CallManager の詳細については、次の資料を参照してください。

製品	タイトル	参照先
Cisco Unified IP Conference Station 7936	<i>Cisco Unified IP Conference Station 7936 電話ガイド</i>	http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm
	<i>Cisco Unified IP Conference Station 7936 で外部マイクロフォンを使用する際のガイドライン</i>	http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm
	<i>Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series</i>	http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm
	<i>Release Notes for the Cisco Unified IP Conference Station 7936</i>	http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm
	<i>Cisco Unified CallManager の関連資料</i>	http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/index.htm

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアル、テクニカル サポート、およびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Documentation CD-ROM (英語版)

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Cisco Documentation CD-ROM パッケージでご利用いただけます。Documentation CD-ROM は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。この CD-ROM パッケージは、1 回単位、年 4 回または年間契約で入手することができます。

Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Ordering ツールから Documentation CD-ROM (Product Number: DOC-CONDOCCD=) を発注できます。

http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/ordering_place_order_ordering_tool_launch.html

この CD-ROM は、Cisco MarketPlace からオンラインで、年 4 回または年間契約で発注できます。

<http://www.cisco.com/go/subscription>

左側のナビゲーションバーの Subscriptions & Promotional Materials をクリックしてください。

マニュアルの発注方法（英語版）

英文マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/pdi.htm

シスコ製品の英文マニュアルは、次の方法で発注できます。

- Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）の場合、Networking Products MarketPlace からシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg/htm>

何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル（英文のみ）を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意事項の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードにアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : security-alert@cisco.com (英語のみ)
- 緊急でない場合 : psirt@cisco.com (英語のみ)



シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP (Pretty Good Privacy) または互換製品を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 8.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵は、次の公開鍵サーバのリストで作成日が最新の鍵です。

<http://pgp.mit.edu:11371/pks/lookup?search=psirt%40cisco.com&op=index&exact=on>

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 (英語のみ)
- 1 408 525-6532 (英語のみ)

テクニカル サポート

シスコと正式なサービス契約を交わしているすべてのお客様、パートナー、および代理店は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) の 24 時間テクニカル サポートを、オンラインと電話で利用することができます。Cisco.com は、オンラインによる技術上の支援のための窓口として、Cisco TAC Web サイトを運営しています。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco TAC Web サイト

Cisco TAC Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。Cisco TAC Web サイトは、24 時間 365 日、いつでも利用可能です。Cisco TAC Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/tac>

Cisco TAC Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

TAC での事例の検索

オンラインの TAC Case Open Tool を使用すると、P3 と P4 の事例を短時間でオープンできます (P3 : ネットワークに軽微な障害が発生した、P4 : 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を迅速に解決するための推奨手段が自動的に検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。オンラインの TAC Case Open Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/tac/caseopen>

P1 または P2 レベルの問題が発生した場合 (P1 : ネットワークがダウンした、P2 : ネットワークの機能が著しく低下した)、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください。P1 および P2 レベルの問題には、Cisco TAC のエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

TAC 優先レベルの定義

シスコでは、TAC に報告される事例を標準化するために、事例の優先レベルを定義しています。

プライオリティ レベル 1 (P1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 2 (P2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 3 (P3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 4 (P4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Catalog』には、シスコシステムズが提供するネットワーク製品のほか、発注方法やカスタマー サポート サービスについての情報が記載されています。『Cisco Product Catalog』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_catalog_links_launch.html

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、シスコが発行する季刊誌で、最新ネットワーク トренд、最新テクノロジー、および業界の専門家がネットワーク投資を最大限に活用するのに役立つシスコ製品およびソリューション情報が記載されています。ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、チュートリアルおよびトレーニング、認定情報、およびさまざまな充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』は、シスコが発行する隔月誌で、業界の経営幹部向けにインターネット ビジネス戦略に関する最新情報を提供します。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/about/ac123/ac147/about_cisco_the_internet_protocol_journal.html

- トレーニング：シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

表記法

このマニュアルは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは、太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告は、次のように表しています。

**警告****安全上の重要な注意事項**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



Cisco Unified IP Conference Station 7936 の概要

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、IP ベースのハンドフリー Conference Station で、Voice over IP (VoIP) テクノロジーを使用しています。Cisco Unified IP Conference Station は、従来のアナログ会議ユニットに代わる端末で、IP ネットワークを介して業務用の会議機能（たとえば、Call Hold、Call Resume、Call Transfer、Call Release、Call Pickup、Group Pickup、Redial、Mute、Conference）を提供します。この端末は G.711 音声圧縮および G.729a 音声圧縮をサポートしています。

IP Conference Station は、Cisco Unified CallManager など、他の主要な Cisco IP Telephony コンポーネントと連携して動作します。Cisco Unified IP Conference Station 7936 でサポートされている Cisco Unified CallManager のバージョンは、5.0、4.2(1)、4.1(3)、4.0(1)、および 3.3(5) です。

この章では、次のトピックを取り上げて、IP Conference Station に関する情報、および VoIP ネットワークの他の主要コンポーネントとの相互動作について説明します。

- [ネットワークング プロトコル \(P.1-2\)](#)
- [サポートしている機能 \(P.1-4\)](#)
- [使用可能な接続 \(P.1-5\)](#)
- [他の Cisco Unified IP Telephony 製品との相互動作の概要 \(P.1-5\)](#)
- [起動プロセスの概要 \(P.1-6\)](#)
- [Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置とセットアップの要件 \(P.1-8\)](#)

■ ネットワーキングプロトコル

ネットワーキングプロトコル

IP Conference Station は、音声通信に必要な業界標準のネットワーキングプロトコルおよびシスコ ネットワーキングプロトコルを複数サポートしています。表 1-1 は、サポートされるネットワーキングプロトコル、および各プロトコルの概要を示しています。

表 1-1 サポートされるネットワーキングプロトコル

ネットワーキングプロトコル	目的	使用上の注意
シスコ検出プロトコル (CDP)	<p>CDP は、すべてのシスコ製機器上で実行されるデバイス検出プロトコルです。</p> <p>CDP を使用すると、装置は、自身の存在を他の装置に通知し、ネットワーク内の他の装置についての情報を受け取ることができます。</p>	<p>IP Conference Station は、CDP を使用して、Cisco Catalyst スイッチに設定情報を伝達します。各装置は、CDP を使用して、マルチキャスト アドレスに定期的にメッセージを送信し、他の装置が定期的送信するメッセージを受信待機します。UDP を使用すると、ネットワーク上の装置は互いを検出し、使用されているプロトコル、プロトコル アドレスなどの情報を確認できます。</p>
Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)	<p>DHCP は、IP アドレスをネットワーク装置に動的に割り振り、割り当てます。</p> <p>DHCP を使用すると、手動で IP アドレスを割り当てたり、その他の必要なネットワーク パラメータを設定したりしなくても、IP Phone をネットワークに接続し、作動可能にすることができます。</p>	<p>デフォルトでは、DHCP は使用可能になっています。DHCP が使用不可である場合は、各 IP Conference Station に IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および TFTP サーバを手動で設定する必要があります。</p>

表 1-1 サポートされるネットワークングプロトコル (続き)

ネットワークングプロトコル	目的	使用上の注意
インターネットプロトコル (IP)	IP は、ネットワーク上でパケットをアドレス指定し、送信するメッセージプロトコルです。	IP を使用した通信では、ネットワークデバイスに IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイを割り当てる必要があります。 DHCP と一緒に IP Conference Station を使用する場合は、IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイの識別情報が自動的に割り当てられます。DHCP を使用していない場合は、ローカルに手動で、これらのプロパティを各 IP Conference Station に割り当てる必要があります。
Real-Time Transport (RTP)	RTP は、データネットワークを介して、双方向の音声およびビデオなどの、リアルタイム データを送送するための標準です。	IP Conference Station は、ルータ、ハブ、およびスイッチからの RTP トラフィックを収集し、処理できます。
Skinny Client Control Protocol (SCCP)	Skinny Client Control Protocol は、IP 装置と Cisco Unified CallManager との間の通信を可能にする、低帯域幅メッセージを使用したシスコプロトコルです。	IP Conference Station は、SCCP を使用して、Cisco Unified CallManager と通信します。
伝送制御プロトコル (TCP)	TCP は、コネクション型のトランスポートプロトコルです。	IP Conference Station は、TCP を使用して Cisco Unified CallManager に接続します。
トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP)	TFTP を使用すると、ネットワークを介してファイルを転送できます。 IP Conference Station で TFTP を使用すると、IP Conference Station のタイプに固有のコンフィギュレーションファイルを取得できます。	TFTP を使用するには、ネットワーク内に TFTP サーバが必要です。このサーバは、DHCP サーバから自動的に識別できます。ネットワーク内で複数の TFTP サーバが動作している場合は、手動でローカルに各 IP Conference Station に TFTP サーバを 1 つ割り当てる必要があります。

■ サポートしている機能

表 1-1 サポートされるネットワーキングプロトコル (続き)

ネットワーキングプロトコル	目的	使用上の注意
ユーザデータグラムプロトコル (UDP)	UDP は、データ パケット配送用のコネクションレス型メッセージ プロトコルです。	IP Conference Station は UDP メッセージを受信し、処理します。
Voice over IP (VoIP)	VoIP を使用すると、インターネット プロトコルを使用するデータ ネットワーク上で音声通信を転送できます。	IP Conference Station は、VoIP ゲートウェイを通じて PSTN に接続されます。

サポートしている機能

Cisco Unified IP Conference Station の機能は、従来のアナログ方式の会議ユニットとほぼ同じで、電話会議をセットアップし、コールの発信および受信ができます。Cisco Unified IP Conference Station は、保留、リダイヤル、消音、コール復帰、コール着信転送、コールリリースなどの機能もサポートしています。

こうした従来の電話機能に加えて、Cisco Unified IP Conference Station には、この Station を IP ネットワーキング装置として管理し、モニタできるようにする機能も組み込まれています。Cisco Unified IP Conference Station では、DHCP、TFTP、IP 設定などの機能をローカルに設定できます。また、Cisco Unified IP Conference Station を企業の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザは同僚の連絡先情報を Cisco Unified IP Conference Station で直接検索できるようになります。Cisco Unified CallManager から、その他の設定値を変更できます。これらの設定値は、Cisco Unified IP Conference Station のネットワーク設定値から表示できます。これらの設定値の指定については、本書を参照してください。

使用可能な接続

Cisco Unified IP Conference Station には、データ ネットワークにアクセスし、この IP Conference Station に電力を供給するために、次の接続機構が組み込まれています。

- 電源インターフェイス モジュール(PIM)。Cisco Unified IP Conference Station とネットワークを接続します。
- RJ-45 コネクタ 1 個。データ ネットワークにアクセスし、PIM に接続します。PIM が Cisco Unified IP Conference Station に電力を供給します。
- 汎用電源装置。壁面にある普通の電源コンセントに接続します。

他の Cisco Unified IP Telephony 製品との相互動作の概要

Cisco Unified IP Conference Station が IP Telephony ネットワーク内で機能するには、ネットワーク接続を確保するために、ネットワーキング装置（たとえば、Cisco Catalyst スイッチ）に接続する必要があります。また、Cisco Unified IP Conference Station は、コールの発信と受信のために、Cisco Unified CallManager システムに登録することも必要です。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 と Cisco Unified CallManager との相互動作の概要

Cisco Unified CallManager は、スケーラビリティと高可用性を備えた、分散可能なエンタープライズ IP Telephony コール処理システムです。Cisco Unified CallManager ソフトウェアは、Windows 2000 サーバ上で動作し、電話機間のコールのセットアップと切断を行うことで、従来の PBX 機能を企業 IP ネットワークに組み込みます。Cisco Unified CallManager は、IP Telephony システムのコンポーネント、Conference Station、電話機、アクセス ゲートウェイ、および電話会議やルート計画などの機能に必要なリソースを管理します。

この章で説明されている IP 装置と連携して動作するように Cisco Unified CallManager を設定する方法については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified CallManager システム ガイド』を参照してください。

■ 起動プロセスの概要

起動プロセスの概要

Cisco Unified IP Conference Station は、VoIP ネットワークに接続されると、標準の起動プロセスを実行します。表 1-2 は、起動プロセスについて説明しています。

表 1-2 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の起動プロセス

起動プロセスのステップ	説明
1. 格納されている Station イメージのロード	Cisco Unified IP Conference Station は、ファームウェア イメージとユーザ定義の設定情報を格納した不揮発性フラッシュメモリを備えています。起動時に、Cisco Unified IP Conference Station はブートストラップローダーを実行し、このローダーが、フラッシュメモリに格納されている Cisco Unified IP Conference Station イメージをロードします。このイメージを使って、Station はそのソフトウェアとハードウェアを初期化します。
2. VLAN の設定	Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Catalyst スイッチに接続すると、今度は、スイッチが自分に定義されている VLAN (バーチャル LAN) を Cisco Unified IP Conference Station に通知します。Cisco Unified IP Conference Station は、自分の VLAN メンバーシップを知らない限り、ダイナミックホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) 要求を実行して IP アドレスを求めることはできません。
3. IP アドレスの取得	Cisco Unified IP Conference Station は、DHCP を使って IP アドレスを取得する場合、DHCP サーバに照会して IP アドレスを取得します。
4. TFTP サーバへのアクセス	DHCP サーバは、IP アドレスを割り当てるだけでなく、Cisco Unified IP Conference Station を TFTP サーバにポイントします。TFTP 情報をサーバからクライアントに渡すには、DHCP サーバ上でオプション 150 を設定する必要があります。 Cisco Unified IP Conference Station に IP アドレスが静的に定義されている場合は、代替 TFTP サーバの IP アドレスを手動で設定する必要があります。その結果、Cisco Unified IP Conference Station はこの代替 TFTP サーバを使用して、そこから情報を受信します。

表 1-2 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の起動プロセス (続き)

起動プロセスのステップ	説明
5. コンフィギュレーション ファイルの要求	<p>各テレフォニー装置用のコンフィギュレーション ファイル (.cnf ファイル形式) は、Cisco Unified CallManager 用の接続パラメータを定義しており、TFTP サーバに格納されています。</p> <p>Cisco Unified CallManager で自動登録を使用可能にした場合、Cisco Unified IP Conference Station は、TFTP サーバにあるデフォルトのコンフィギュレーション ファイル (XMLDefault.cnf.xml) にアクセスします。手動で Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager データベースに入力した場合、Station は、その装置名に対応する .xml ファイルにアクセスします。</p>
6. Cisco Unified CallManager との接続	<p>コンフィギュレーション ファイルは、Cisco Unified IP Conference Station と Cisco Unified CallManager との通信方法を定義します。Station は、コンフィギュレーション ファイルを TFTP サーバから取得した後、リスト上で最も優先順位が高い Cisco Unified CallManager への TCP 接続を試みます。</p> <p>Cisco Unified IP Conference Station は、60ms までのサンプリング レートをサポートしています。ただし、30ms を超えるサンプリング レートを設定すると、音声品質が低下する可能性があります。詳細については、『Cisco IP テレフォニー ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン Cisco Unified CallManager 4.0 および 4.1』を参照してください。このドキュメントは、 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_implementation_design_guide_chapter09186a0080447513.html#wp1043960 から入手できます。</p>

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置とセットアップの要件

Cisco Unified IP Conference Station を設置して設定するには、いくつかのネットワーク設定値を指定し、Cisco Unified CallManager をセットアップしてから、Cisco Unified IP Conference Station 上の変更点を手動で設定する必要があります。

表 1-3 は、これらの手順について説明しています。

表 1-3 Cisco Unified IP Conference Station の設置とセットアップの要件

タスク	目的	参照先
1. 音声通信を処理するように、ルータ、ゲートウェイ、およびスイッチを設定する	IP Telephony ネットワークをセットアップする	これらの装置に付属の資料を参照
2. Cisco Unified CallManager を設定する	ネットワーク内のコール処理と取り扱いをサポートする	Cisco Unified CallManager のマニュアルまたは Cisco Unified CallManager アプリケーションのオンライン ヘルプを参照
3. 自動登録を使用して Cisco Unified IP Conference Station を登録するか、手動で Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager データベースに追加するかを決定する	Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager データベースに追加する方法、および電話番号の割り当て方法を決定する	<ul style="list-style-type: none"> • P.2-2 の「設置の準備」を参照 • Cisco Unified CallManager のマニュアルまたは Cisco Unified CallManager アプリケーションのオンライン ヘルプを参照
4. Cisco Unified IP Conference Station をネットワークに接続する	Cisco Unified IP Conference Station をネットワークに追加する	P.2-13 の「 設置およびネットワークとの接続 」を参照
5. Cisco Unified IP Conference Station 上でネットワーク設定値を手動で設定する	ネットワークで DHCP を使用しない場合に、IP 設定値を指定し、TFTP サーバを割り当てる	P.2-18 の「 起動時のネットワーク設定値の設定 」および P.3-9 の「 ネットワーク設定値へのアクセス 」を参照



Cisco Unified IP Conference Station 7936 のセットアップ

Cisco Unified IP Conference Station を設置する前に、ネットワーク設定（たとえば、DHCP と静的アドレッシングのどちらを使用するか）を調べておく必要があります。

Cisco Unified IP Conference Station の設置方法および設定方法については、この章の該当する内容を参照してください。

- [設置の準備 \(P.2-2\)](#)
- [Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置 \(P.2-9\)](#)
- [Cisco Unified IP Conference Station 7936 の使用方法 \(P.2-21\)](#)

設置の準備

Cisco Unified IP Conference Station を設置する前に、Cisco Unified IP Conference Station 用に Cisco Unified CallManager を設定し、Cisco Unified CallManager データベースに Cisco Unified IP Conference Station を追加する方法を決定する必要があります。

Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager に自動登録するか、手動で追加するかを選択できます。Cisco Unified CallManager はネットワーク上のコール処理を行うので、このステップは非常に重要です。

デフォルトの装置ロードの設定

Cisco Unified CallManager で Cisco Unified IP Conference Station に対してデフォルトの装置ロードを設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified IP Conference Station ロードを Cisco Unified CallManager サーバの C:\Program Files\Cisco\TFTP Path ディレクトリにコピーします。
 - ステップ 2** Cisco Unified CallManager の管理ページを起動します。
 - ステップ 3** [デバイス] > [デバイスの設定] > [デバイスのデフォルト] の順に選択します。
 - ステップ 4** [デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウで、Cisco 7936 デバイスタ입まで下方にスクロールします。
 - ステップ 5** [ロード情報 (Load Information)] を C:\Program Files\Cisco\TFTP Path ディレクトリのロードに設定します。
 - ステップ 6** ページの末尾の [保存] をクリックします。
-

新しい装置の追加

Cisco Unified IP Conference Station を新しい装置として Cisco Unified CallManager に追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [電話] の順に選択します。

[電話] ページが表示されます。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[新規電話を追加] ページが表示されます。

ステップ 3 Cisco 7936 電話機タイプを選択し、[次へ] をクリックします (電話機タイプを選択した後、このタイプを変更できません)。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ページが表示されます。

ステップ 4 次の表の説明に従い、必要なフィールドに入力します。

フィールド	説明
MAC アドレス (MAC Address)	<p>Cisco Unified IP Conference Station 7936 を識別する Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスを入力します。値は 12 桁の 16 進数文字で構成されています。</p> <p>MAC アドレスは、Cisco Unified IP Conference Station の底面にあります。</p> <p>また、Cisco Unified IP Conference Station の電源が投入されているときは、Menu ボタンを押して Admin Setup メニューに移動すると、MAC アドレスが表示されます。Select を押し、管理者パスワード (デフォルトは **#) を入力し、Enter ソフトキーを押します。System Info を選択し、MAC アドレスが見つかるまでシステム情報をスクロールします。</p>

■ 設置の準備

フィールド	説明
デバイスプール (Device Pool)	この Cisco Unified IP Conference Station を割り当てる先のデバイス プールを選択します。デバイス プールは、装置に共通した一連の特性 (たとえば、地域、日付 / 時刻グループ、Cisco Unified CallManager グループ、および自動登録用のコール検索スペースなど) を定義します。 ここで選択した値は、このデバイス タイプのデフォルト値を上書きします。
電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)	適切な電話ボタン テンプレートを選択します。電話ボタン テンプレートは、電話のボタンの設定を決定し、各ボタンで使用する機能 (回線、短縮ダイヤルなど) を特定します。

ステップ 5 ページの末尾で [保存] をクリックします。

ステップ 6 この Cisco Unified IP Conference Station に電話番号を追加します。

追加方法の説明が必要な場合は、Cisco Unified CallManager の管理ページのオンライン ヘルプの「Directory Number Configuration Settings」を参照してください。

ステップ 7 Cisco Unified IP Conference Station をリセットして、新しい設定値を適用します。

自動登録の使用方法

Cisco Unified IP Conference Station をネットワークに自動的に追加して電話番号を割り当てるには、自動登録を使用します。割り当てられる電話番号は、Cisco Unified CallManager において Cisco Unified IP Conference Station タイプに割り当てられたデバイス プール内で、次に使用可能な一連番号です。

Cisco Unified CallManager で自動登録を使用可能にした場合は、ネットワークに接続した後、Cisco Unified IP Conference Station は自動起動プロセスを開始して、電話番号を取得します。

また、自動登録を使用すると、Cisco Unified CallManager データベースにすべての Cisco Unified IP Conference Station をすばやく登録できます。その後、設定値、たとえば電話番号は、Cisco Unified CallManager アプリケーションを使用して修正できます。

次に、Cisco Unified CallManager を使用して Cisco Unified IP Conference Station をネットワークに自動的に追加する際に実行する必要がある詳細な手順を示します。この手順に関する追加情報が必要な場合は、Cisco Unified CallManager の管理ページのマニュアル、または Cisco Unified CallManager の管理ページ アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CallManager の管理ページを起動します。
 - ステップ 2** Cisco Unified CallManager で自動登録を使用可能にするために、[システム] > Cisco Unified CallManager の順に選択します。
 - ステップ 3** Cisco Unified CallManager のリストの中から、自動登録をチェックする Cisco Unified CallManager を選択します。
 - ステップ 4** [この Cisco Unified CallManager では自動登録は無効 (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified CallManager)] 設定が選択されていないことを確認します。
 - ステップ 5** P.2-9 の「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置」の手順を実行して、Station を設置します。
 - ステップ 6** 設定値を修正するには、Cisco Unified CallManager の管理ページに戻り、[デバイス] > [電話] の順に選択します。

新しい Cisco Unified IP Conference Station の検索条件を入力し、[検索] をクリックします。新しい Cisco Unified IP Conference Station の MAC アドレスが表示されます。

Cisco Unified IP Conference Station の手動による追加

自動登録を使用しないで、Cisco Unified IP Conference Station に特定の電話番号を割り当てる場合は、手動で各 Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager データベースに追加する必要があります。

ネットワーク内でダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) を使用していない場合は、各 IP Conference Station で、IP 設定値とトリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバも手動で設定する必要があります。

代わりに、DHCP を使用して、TFTP サーバを手動で設定することもできます。この場合は、DHCP を使って IP Conference Station を起動してから、TFTP サーバを割り当て直してください。

DHCP の使用

ネットワーク内で DHCP を使用しているが、自動登録を使用しない場合は、手動で Cisco Unified IP Conference Station を Cisco Unified CallManager データベースに追加します。

Cisco Unified IP Conference Station を手動でネットワークに追加するには、次の手順を実行します。詳細については、Cisco Unified CallManager のマニュアルまたはオンライン ヘルプを参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CallManager の管理ページを起動します。
 - ステップ 2** Cisco Unified CallManager に Cisco Unified IP Conference Station を追加するために、**[デバイス] > [電話]** の順に選択します。

[電話] ページが表示されます。
 - ステップ 3** **[新規追加]** をクリックします。

[新規電話を追加] ページが表示されます。

ステップ 4 Cisco 7936 電話機タイプを選択し、[次へ] をクリックします。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ページが表示されます。

ステップ 5 必須フィールドに入力します。

ステップ 6 [P.2-9 の「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置」](#)の手順を実行して、Station を設置します。

静的 IP アドレスの割り当て

ネットワーク内で DHCP を使用しない場合は、各 IP Conference Station で静的 IP アドレスを手動で設定する必要があります。

Cisco Unified IP Conference Station に静的アドレスを割り当てるには、次の手順を実行します。詳細については、Cisco Unified CallManager のマニュアルまたはオンライン ヘルプを参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CallManager の管理ページを起動します。

ステップ 2 Cisco Unified CallManager に Station を追加するために、[デバイス] > [電話] の順に選択します。

[電話] ページが表示されます。

ステップ 3 [新規追加] をクリックします。

[新規電話を追加] ページが表示されます。

ステップ 4 Cisco 7936 電話機タイプを選択し、[次へ] をクリックします

[電話の設定 (Phone Configuration)] ページが表示されます。

■ 設置の準備

- ステップ 5** 必須フィールドに入力します。
- ステップ 6** P.2-9 の「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置」の手順を実行して、Cisco Unified IP Conference Station を設置します。
- ステップ 7** P.3-11 の「IP 設定値の設定」の手順を実行して、IP 設定値を設定します。
- ステップ 8** P.3-17 の「代替 TFTP オプションの設定」の手順を実行して、TFTP サーバを設定します。
-

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置

Cisco Unified IP Conference Station を設置する前に、次の情報を確認してください。

- [ネットワーク要件 \(P.2-9\)](#)
- [Cisco Unified CallManager の設定 \(P.2-10\)](#)
- [安全上の注意事項 \(P.2-10\)](#)
- [設置およびネットワークとの接続 \(P.2-13\)](#)
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Conference Station 7936*』に記載されている詳細情報

パッケージの内容

パッケージの内容の詳細については、[P.2-13](#) の「[設置およびネットワークとの接続](#)」を参照してください。

ネットワーク要件

Cisco Unified IP Conference Station が、ネットワーク内の IP Conference Station のエンドポイントとして正常に動作するには、ネットワークが次の要件を満たしている必要があります。

- 運用中の VoIP ネットワーク
 - Voice over IP (VoIP) が Cisco ルータおよびゲートウェイ上に設定されている
 - Cisco Unified CallManager がネットワーク内に設置され、コール処理を行うように設定されている
- IP ネットワークは、DHCP をサポートしているか、または IP アドレス、ゲートウェイ、およびサブネット マスクの手動による設定をサポートしている
- TFTP サーバ

Cisco Unified CallManager の設定

Cisco Unified IP Conference Station には、コール処理を行う Cisco Unified CallManager が必要です。



(注) Cisco Unified IP Conference Station を管理し、コールを正しくルーティングし、処理するように、Cisco Unified CallManager が正しく設定されていることを確認するには、Cisco Unified CallManager のマニュアルまたはオンライン ヘルプを参照してください。

自動登録を使用する場合は、Cisco Unified IP Conference Station をネットワークに接続する前に、自動登録機能が Cisco Unified CallManager で有効になっていて、正しく設定されていることを確認します。詳細については、P.2-4 の「[自動登録の使用方法](#)」を参照してください。

安全上の注意事項



(注) Cisco Unified IP Conference Station 7936 の国際機関規格への準拠、安全性、および法定事項については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Conference Station 7936*』を参照してください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

TN 電源システムおよび IT 電源システムについては、次の安全上の情報を参照してください。



警告

この装置は、TN および IT 電源システムに接続することを前提に設計されています。



警告

設置手順を読んでから、装置を供給電源に接続してください。



警告

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

この装置を廃棄処分する際は、日本国、または設置国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷が発生しているときには、装置上での作業、ケーブルの接続、取り外しをしないでください。



警告

感電を避けるために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が含まれ、WAN ポートには TNV 回路が含まれています。一部の LAN ポートと WAN ポートはいずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する際には注意してください。

**警告**

この製品は、短絡(過電流)保護が装備されている建物に設置してください。120 VAC、15 A 以下のヒューズまたは回路ブレーカーが、位相導体(すべての通電導体)で使用されていることを確認してください。

**警告**

プラグとソケットは、常にアクセスできる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。

**注意**

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、ローカル電源装置の使用時に UPS(無停電電源装置)によってサポートされていない場合は、電源停止時に作動不能になります。

**注意**

Cisco Unified IP Phone の非常に近くで携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを使用すると、干渉が起こる場合があります。詳細については、干渉を発生している装置のメーカーのマニュアルを参照してください。

外部装置と Cisco Unified IP Phone の同時使用

外部装置と Cisco Unified IP Phone を同時に使用する場合は、次の情報を参照してください。

- これらの装置の品質と、携帯電話や双方向無線など他の装置との距離によっては、音声周波数の雑音がなくなることがあります。この場合は、次のアクションのいずれかまたは複数をとることを推奨します。
 - 外部装置を RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざける。
 - 外部装置ケーブルを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざけるようにルーティングする。

- 外部装置に遮蔽ケーブルを使用するか、より効果が高い遮蔽とコネクタ付きのケーブルを使用する。
- 外部装置ケーブルの長さを短くする。
- 外部装置のケーブルに、フェライトなどの素子を付加する。
- シスコは外部装置、ケーブル、コネクタの品質をコントロールできないため、システムのパフォーマンスを保証できません。適切な装置を高品質のケーブルとコネクタで接続した場合に、適切なシステム パフォーマンスが得られます。

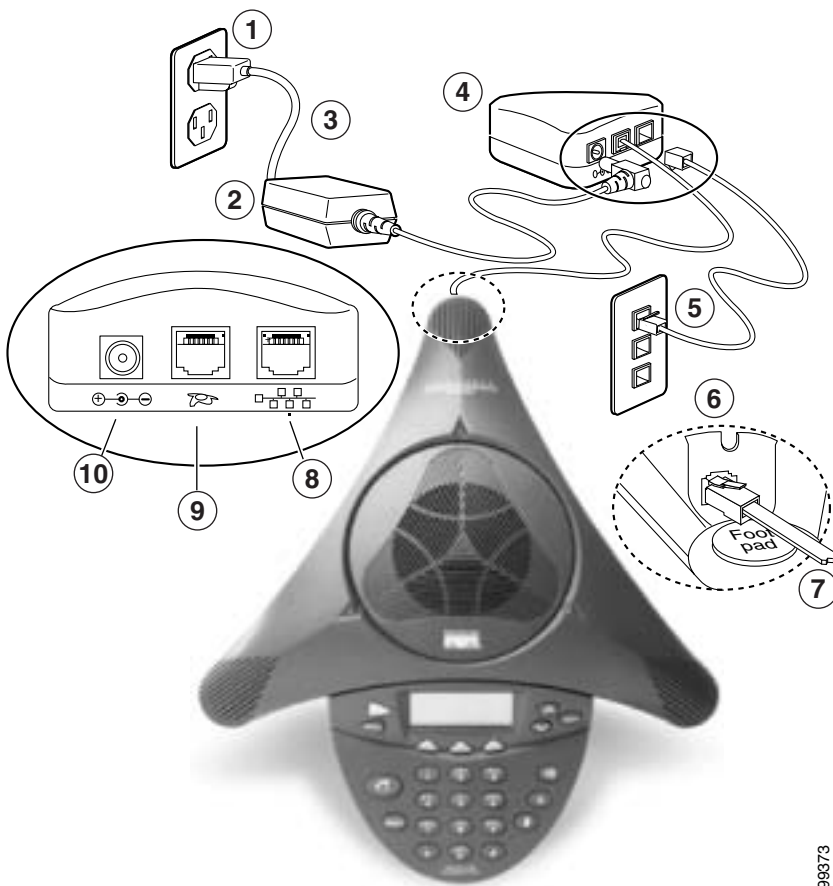
設置およびネットワークとの接続

Cisco Unified IP Conference Station は、使用する前にネットワークと電源に接続する必要があります。

Cisco Unified IP Conference Station を設置する際には、[図 2-1](#) および [図 2-2](#) を参照してください。

- [図 2-1](#) に、Cisco Unified IP Conference Station 7936 で使用するさまざまなコンポーネントおよび電源接続とケーブル接続を示します。
- [図 2-2](#) に、オプションの外部マイクロフォンと Cisco Unified IP Conference Station 7936 の底面にある外部マイクロフォン ジャックへの接続を示します。

図 2-1 Cisco Unified IP Conference Station 7936 : コンポーネントと接続

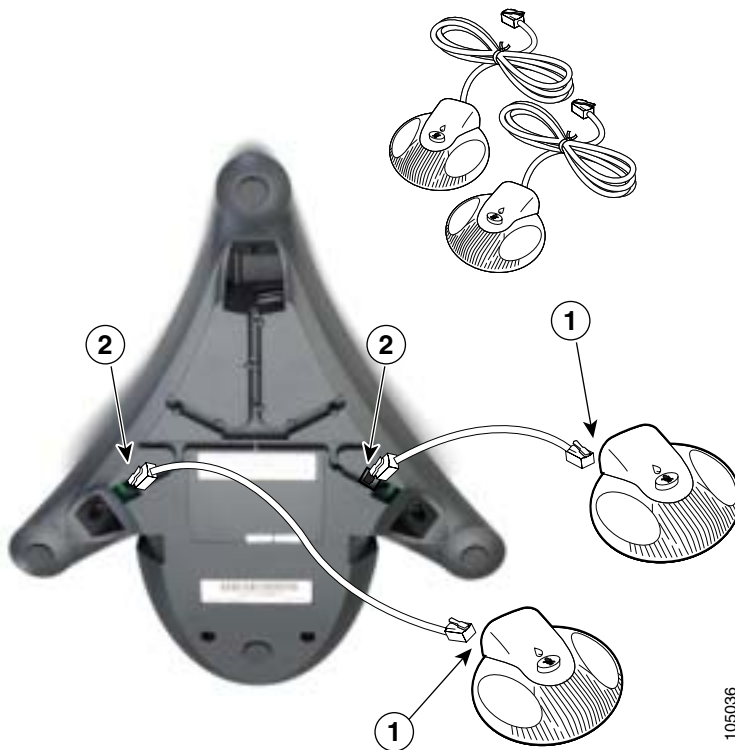


98373

1	壁面電源コンセント	6	Cisco Unified IP Conference Station の底面の RJ-45 ポート
2	電源装置	7	25 フィート CAT 5 ケーブルの未接続端
3	電源装置用電源コード	8	PIM の LAN 接続
4	PIM	9	PIM の 25 フィート CAT 5 ケーブル接続
5	LAN 接続	10	PIM の電源装置ユニット用 DC アダプタ ポート

**(注)**

Cisco Unified IP Conference Station と他の Cisco Unified IP Phone とのデジチェーン接続はサポートされないため、デジチェーン接続をしても動作しません。

図 2-2 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の外部マイクロフォン接続

- | | |
|---|---|
| 1 | 外部マイクロフォン ケーブルの一方の端を外部マイクロフォンの底面のジャックに接続します。 |
| 2 | 外部マイクロフォン ケーブルのもう一方の端を Cisco Unified IP Conference Station 7936 の底面の外部マイクロフォン ジャックに接続します。 |

Cisco Unified IP Conference Station を設置するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified IP Conference Station を平らな面（たとえば、会議室のテーブルやデスクトップ）に置きます。
- ステップ 2** 6 フィート CAT 5 ケーブルの一方の端をデータ ネットワーク ポートに接続し、もう一方の端を PIM の ネットワーク (LAN) ポートに接続します。
- ステップ 3** 25 フィート CAT 5 ケーブルの未接続端を、Cisco Unified IP Conference Station の底面にある RJ-45 ポートに接続します（このケーブルの一端は、PIM に事前に差し込まれています）。
- ステップ 4** 電源装置を PIM の DC アダプタポートに接続し、もう一方の端を壁面にある普通の電源コンセントに差し込みます。
- ステップ 5** 外部マイクロフォン キットを使用する場合は、マイクロフォン延長コードをそれぞれ Cisco Unified IP Conference Station 7936 の底面に設置されているマイクロフォン ジャックに接続します。この接続の図については、[図 2-2](#) を参照してください。



(注) 上記のケーブル、PIM、電源装置を正しく接続しないと、Cisco Unified IP Conference Station は動作しません。

シスコが提供する外部マイクロフォン キット以外の装置を使用した場合、正しく機能しない可能性があるだけでなく、Cisco Unified IP Conference Station の製品保証が無効になる可能性もあります。

起動プロセスの確認

Cisco Unified IP Conference Station は、電源に接続されてから 15 秒以上経過すると、起動プロセスを開始し、次の一連の手順を実行します。

起動プロセスのステップ	LCD スクリーンのメッセージ
1. 起動：装置への電源投入から約 15 秒経過すると、起動プロセスが開始されます。	Cisco Systems, Inc. Polycom Technology Copyright 2003
2. IP アドレス設定：プロトコルが IP アドレスを設定している間、次のメッセージが表示されます。	Configuring IP... Press Menu to Reconfigure
3. トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) 設定：TFTP サーバとの接続を確立している間、次のメッセージが表示されます。	Station IP:IP Address Contacting:TFTP Server
4. Cisco Unified CallManager 設定: Cisco Unified CallManager との接続を確立している間、次のメッセージが表示されます。	Opening: Cisco Unified CallManager IP Address
5. Cisco Unified CallManager 登録: Cisco Unified CallManager に装置を登録している間、次のメッセージが表示されます。	Registering...
6. 初期化完了。	Press the Phone Key to get a dial tone



(注)

この起動プロセスは、数分かかる場合があります。ネットワークのアクセス速度によっては、上記のメッセージの一部が表示されない場合があります。

Cisco Unified IP Conference Station が Cisco Unified CallManager に正常に登録された後、LCD スクリーンに次の情報が表示されます。

- 日付と時刻
- IP アドレス
- ローカル番号
- 「Press the Phone Key to get a dial tone」というメッセージ

- Corp Dir ソフトキーと Ph Book ソフトキー

上記のステップが正常に終了した場合は、Cisco Unified IP Conference Station が問題なく起動したことになります。

起動時のネットワーク設定値の設定

ネットワークで DHCP を使用していない場合は、ネットワークに Cisco Unified IP Conference Station を設置した後、この IP Conference Station 上で次のネットワーク設定値を手動で設定する必要があります。

- IP アドレス
- IP サブネット マスク
- デフォルト ゲートウェイ IP アドレス
- TFTP サーバ IP アドレス

必要な情報を収集し、第 3 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定」に説明されている手順を実行してください。

最適なパフォーマンスを得るためのガイドライン

Cisco Unified IP Conference Station 7936 と外部マイクロフォンのパフォーマンスを最適化するには、次のガイドラインに従ってください。



(注)

さまざまな会議室構成に対する適切な装置の配置図については、P.2-20 の「[会議室のセットアップの例](#)」を参照してください。

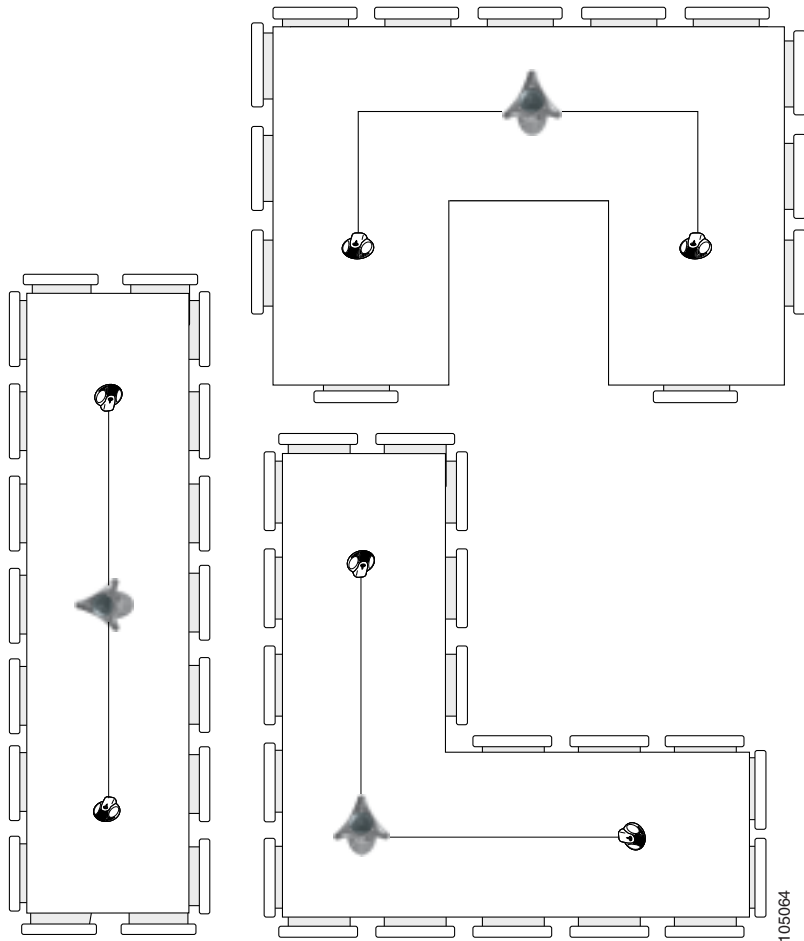
- Cisco Unified IP Conference Station は、パーティションなどで仕切られたオフィスや、会議室で使用してください。利用できる広さは、6 m × 6 m (20 フィート × 20 フィート) まで (外部マイクロフォンなし) および 6 m × 9 m (20 フィート × 30 フィート) まで (外部マイクロフォンあり) です。
- Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体は、平らな面に設置し、反響を起こす面から離してください。

- 外部マイクロフォン、Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体、およびそれ以外の物体の間は、1.2 m (4 フィート) 以上の間隔を置いてください。
- すべてのマイクロフォンが音響的に遮られていないことを確認してください。
- 外部マイクロフォンは、カバーする必要がある領域に向け、指向性の中心が Cisco Unified IP Conference Station 7936 の方に向かないように配置してください。
- 会議の参加者は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 との距離が全員同じになるように座席を配置してください。
- 通常の会話の音量で、Cisco Unified IP Conference Station 7936 に向かって話してください。
- 通話中に Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体または外部マイクロフォンを動かしたり、触ったりしないでください。また、装置の近くで紙の音を立てないでください。
- オフィスまたは会議室の空調装置やファンなどの騒音は最小限に抑えてください。

会議室のセットアップの例

さまざまな会議室構成において、Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体と外部マイクロフォンを適正に配置した例を図 2-3 に示します。

図 2-3 Cisco Unified IP Conference Station 本体と外部マイクロフォンの配置



Cisco Unified IP Conference Station 7936 の使用方法

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、外付けマイクロフォン ジャックを 2 つ備えており、オプションの外部マイクロフォンを使用できます。機能を拡張したスピーカ設計に伴い、Cisco Unified IP Conference Station は大会議室での電話会議を容易にした最適なソリューションとなりました(小規模なオフィスおよび会議室で使用するために、Cisco Unified IP Conference Station を外部マイクロフォンなしで発注することもできます)。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、1 本の回線で 2 回線の通話までサポートしています。電話のコントロール パネルには 25 のキーと、情報を表示する LCD があります。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Phone キーを押すと、電話がオフフック状態になり、発信音が聞こえます。電話番号をダイヤルし始めると、LED が 3 つ点灯し(緑色) アクティブ状態を示します。通話中のコールがあるときにコールを受信すると、コールの待機音が再生されます。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の LCD スクリーンは、バックライトで照らされます。このバックライトは、キーを押すと点灯します。バックライトは、Cisco Unified IP Conference Station 7936 を使用していないとき、またはコールが 1 分を超えたときは消灯します。コールが進行中でバックライトが消灯しているときに 2 番目のコールを受信した場合、バックライトは再び点灯します。

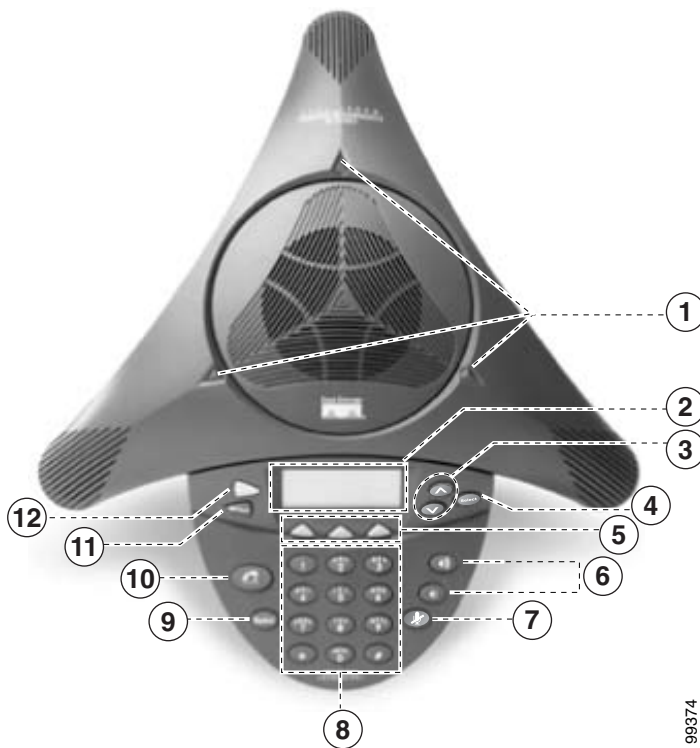
Cisco Unified IP Conference Station 7936 には、3 つの状況依存キー (メニュー アクセスと終了キー、スクロール キー、および選択キー) があります。これらのキーを使用して、次の機能にアクセスできます。




- コール インターフェイス
- 設定 インターフェイス
- 追加コール機能 (ソフトキーからアクセスできない機能)
- 電話帳へのアクセス (ローカル電話帳には最大 20 の番号を保存できます)




機能の概要


Cisco Unified IP Conference Station 7936 の各部の名称と機能の説明については、[図 2-4](#) を参照してください。

図 2-4 Cisco Unified IP Conference Station 7936 : 各部の名称と機能




1	LED	<p>コール状況を知るインディケータです。</p> <p>コール状況オフ：すべての LED が消灯。</p> <p>電源投入中：赤の LED が点灯。</p> <p>レディ：すべての LED が消灯。</p> <p>発信音オン：緑色の LED が点灯。</p> <p>ダイヤル中：緑色の LED が点滅。</p> <p>接続完了：緑色の LED が点灯。</p> <p>消音：赤の LED が点滅。</p> <p>保留：赤の LED が点灯。</p> <p>コール着信：緑色の LED が点滅し、呼び出し音が聞こえる。</p> <p>呼び出し中 / 接続中：緑色の LED が点滅。</p>
2	LCD スクリーン	<p>Cisco Unified IP Conference Station がオンラインになり、完全に作動可能になると、「Press the Phone Key to get a dial tone」という状況インディケータを表示します。LCD スクリーンのメイン画面には、日付と時刻、IP アドレス、および Cisco Unified IP Conference Station に割り当てられたローカル電話番号が表示されます。また、Cisco Unified IP Conference Station システムの状況、たとえば、設定とすべての管理設定値も表示されます。LCD スクリーンは、バックライトで照らされます。</p>
3	スクロール ボタン  	<p>LCD スクリーン内でメニューや開いているリストの全体をスクロールできます。</p>
4	選択ボタン 	<p>選択されているメニュー オプションまたはリスト項目を選択します。</p>

5	ソフトキー	<p>Answer : 現在のコールに応答します。</p> <p>CFwdAll : すべての着信コールを別の番号にリダイレクトします。</p> <p>Confrn : 電話会議に参加者を追加します。</p> <p>Corp Dir : コールする番号を社内ディレクトリで検索できます。</p> <p>EndCall : 通話を終了し、待機画面または通話中のコールのリストに戻ります。</p> <p>GrpPickUp : 自分のグループまたは別のグループ内のコールに応答できません。</p> <p>Hold : 通話中のコールを保留にします。</p> <p>PickUp : 自分のグループ内のコールに応答できます。</p> <p>Ph Book : 電話帳を開きます。</p> <p>NewCall : 新しい番号にダイヤルできます。</p> <p>Redial : 直前にコールした番号をリダイヤルできます。</p> <p>Resume : 選択した保留中のコールに戻ります。</p> <p>Transfer : 現在のコールを転送します。</p> <p>Join : 2人の参加者を加えて、会議を作成します。</p>
6	音量ボタン  	<p>現在アクティブなサウンド、つまり通話、スピーカ、呼び出し音、またはダイヤル音のそれぞれの音量を増減します。</p>
7	消音ボタン 	<p>コールの消音機能をオンまたはオフに切り替えます。</p>
8	ダイヤルボタン	<p>電話番号のダイヤル、電話帳エントリの追加または編集、および選択されているメニューに応じてその他の入力を行うことができます。</p>

9	リダイヤル ボタン 	前回ダイヤルした番号を自動的にリダイヤルします。
10	電話ボタン 	ダイヤル音を発信したり、着信コールに応答したり、通話を切ったりすることができます。
11	終了ボタン 	メニュー、リスト、または電話帳から、メインの LCD スクリーンに戻ります。
12	メニュー ボタン 	Cisco Unified IP Conference Station のメイン メニューを開きます。メイン メニューには、次の選択項目が含まれています。 Call Functions : コール機能オプション (Meet Me、Park、Pick-up、Group Pick-up、および Transfer) を開きます。 Phone Book : 電話帳を開きます。 Settings : 設定オプション (Contrast (コントラスト)、Back Light (バックライト)、Language (言語)、Ringer (呼び出し音)、Time Format (時刻形式)、および Date Format (日付形式)) を開きます。 Admin Setup : Admin Setup を開きます。

キーボード コマンドの使用

Cisco Unified IP Conference Station 7936 では、次のキーボード コマンドが使用可能です。

キーボード コマンド	アクセス可能な状態	機能の説明
**#	メニュー スクリーン。	このコマンドを使用して、管理者メニューにアクセスします。
***#*	待機モードおよびメニュースクリーンの2つのレベル。 たとえば、このキーボード コマンドは、メイン メニュー（第1レベル）または Admin Setup メニュー（第2レベル）から使用できます。	このコマンドを使用して、Cisco Unified IP Conference Station を再起動します。
**1	待機モード。	このコマンドは、Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定を復元します。実行前に、確認用の画面が表示されます。
**6	待機モード。	このコマンドは、Cisco Unified IP Conference Station の MAC アドレスを表示します。
**4	待機モード。	このコマンドを使用して、電話への Telnet 接続を使用可能にします。Telnet は、電話がリセットされるまで使用可能になっています。
**8	待機モード。	このコマンドを使用して、デジタル信号プロセッサ (DSP) の状態情報表示を呼び出します。  (注) DSP 情報を参照するには、コールの前にこのコマンドを実行する必要があります。 コールを受けた後、Select キーを押して表示します。DSP 情報は、コールの以降の部分について表示されます。
<Select、Select>	通話中のコール。	このコマンドは、アクティブ コールの統計情報と、使用されているコーデックを表示します。



Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定

Cisco Unified IP Conference Station 7936 はネットワーク装置です。この装置には、設定可能なネットワーク設定値が含まれています。ユーザが Cisco Unified IP Conference Station にアクセスして使用できるようにするには、事前にこれらの設定値の多くを指定しておく必要があります。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設定については、この章の次のトピックを参照してください。

- [管理者オプション \(P.3-2\)](#)
- [システム設定値の確認 \(P.3-4\)](#)
- [ネットワーク設定値へのアクセス \(P.3-9\)](#)
- [ファームウェアバージョン情報の確認 \(P.3-21\)](#)
- [Cisco Unified IP Conference Station のリセット \(P.3-22\)](#)
- [ローカル設定の消去 \(P.3-23\)](#)
- [アプリケーション ロードのアップグレード \(P.3-29\)](#)
- [管理者パスワードの変更 \(P.3-31\)](#)
- [管理者パスワードの変更 \(P.3-31\)](#)
- [Diagnostics メニューの使用方法 \(P.3-32\)](#)
- [Settings メニューでの設定変更 \(P.3-33\)](#)
- [社内ディレクトリの設定 \(P.3-37\)](#)
- [ローカル ディレクトリの設定 \(P.3-40\)](#)

■ 管理者オプション

- その他の機能 (P.3-42)
- Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス (P.3-44)

管理者オプション

表 3-1 は、LCD メニューから使用できる管理者オプションについて説明しています。これらの設定オプションは、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスからも使用できます。詳細については、P.3-44 の「Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス」を参照してください。



(注) 管理者オプションはパスワードで保護されています。

表 3-1 Cisco Unified IP Conference Station の管理者オプションの設定


LCD メニュー項目	説明
Admin Setup: このメニューにアクセスするには、次の手順に従います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Menu ボタンを押します。 2. Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。 3. Select ボタンを押します。 4. 管理者パスワードを入力します (デフォルトの管理者パスワードは **# です)。 	Admin Setup メニューから、管理者メニューにアクセスできます。管理者オプションはパスワードで保護されています。
Network Setup: Network Setup メニュー パラメータにアクセスするには、上記の手順に従って、Network Setup を選択します。	Network Setup メニューでは、特定のネットワーク パラメータ、たとえば、DHCP、ドメイン名、静的 IP アドレッシングなどが設定できます。
 ヒント Admin Setup メニュー オプションに戻る必要があるときには、Menu ボタンを押します。	詳細については、P.3-9 の「ネットワーク設定値へのアクセス」を参照してください。

表 3-1 Cisco Unified IP Conference Station の管理者オプションの設定 (続き)

LCD メニュー項目	説明
Diagnostics : Diagnostics メニューにアクセスするには、上記の手順に従って、Diagnostics を選択します。	Diagnostics メニューでは、接続性をテストし、ネットワーク統計情報をチェックできます。
Restore Defaults : Restore Defaults メニューにアクセスするには、上記の手順に従って、Restore Defaults を選択します。電話の待機画面メニューで **1 を押して、デフォルト設定を復元することもできます。	Restore Defaults メニューでは、IP Conference Station の設定を出荷時の設定値に復元できます。 詳細については、P.3-24 の「 デフォルト設定値 」を参照してください。
Change Passcode : Change Passcode メニューにアクセスするには、上記の手順に従って、Change Passcode を選択します。	Change Passcode メニューでは、電話で使用する管理者パスワードを変更できます。 詳細については、P.3-31 の「 管理者パスワードの変更 」を参照してください。
HTTP Port Change : HTTP Port Change メニューにアクセスするには、上記の手順に従って、HTTP Port Change を選択します。	HTTP Port Change メニューでは、HTTP ポートを変更できます。デフォルトの HTTP ポートは 80 です。 詳細については、P.3-20 の「 HTTP ポートの設定 」を参照してください。
System Info : System Information メニューにアクセスするには、上記の手順に従って、System Information を選択します。	System Information メニューでは、構成情報を表示できます。詳細については、P.3-4 の「 システム設定値の確認 」を参照してください。

システム設定値の確認

Cisco Unified IP Conference Station には、現在のシステム設定値に関する詳細情報が記録されています。この情報は、トラブルシューティング時、またはシステム設定値に変更を加える場合に便利です。



(注)

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して、システム設定値を表示することもできます。P.3-44 の「[Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

システム設定値を確認するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
- ステップ 3** Select ボタンを押します。
- ステップ 4** 管理者パスワードを入力します (デフォルトの管理者パスワードは **# です)。
- ステップ 5** Enter ソフトキーを押します。
- ステップ 6** Up または Down スクロール ボタンを押して System Info を選択し、次に Select ボタンを押します。
- ステップ 7** Up または Down スクロール ボタンを押して、表 3-2 に説明されているシステム情報全体をスクロールします。

表 3-2 Cisco Unified Conference Station でのシステム確認ステップ

システム設定値	説明	使用上の注意
Language	Cisco Unified IP Conference Station 用の言語選択エントリを表示します。	デフォルトの言語は、English です。
Local number	これは、Cisco Unified IP Conference Station に割り当てられている市内電話番号または内線番号です。	電話会議は、この番号を使用して開始されます。
DHCP	ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) が使用可能か、使用不可を示します。	デフォルトで DHCP は使用可能になっています。Admin Setup > Network Setup 設定メニューから使用不可にできます。
MAC Address	Cisco Unified IP Conference Station の固有のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを示します。	このアドレスは、電話に関連付けられているハードウェア アドレスです。設定はできません。
IP Address	これは、Cisco Unified IP Conference Station に割り当てられる IP アドレスです。	IP アドレスは、ネットワーク上で Cisco Unified IP Conference Station を識別します。このアドレスは、DHCP が使用可能になっている場合は、自動的に設定されます。
IP Mask	IP Conference Station が使用するサブネット マスクを示します。	この IP アドレスは、DHCP が使用可能になっている場合は、自動的に設定されます。
Router 1	IP Conference Station が使用するデフォルト ゲートウェイを示します。	この IP アドレスは、DHCP が使用可能になっている場合は、自動的に設定されます。
Host Name	IP Conference Station に割り当てられた固有のホスト名を示します。	このアドレスは、Cisco Unified CallManager を通じて割り当てられます。
Domain	Cisco Unified IP Conference Station が置かれているドメインを示します。	このドメイン名は、DHCP サーバを通じて割り当て可能です。
DNS Address	Cisco Unified IP Conference Station に対応するドメイン ネーム システム (DNS) サーバアドレスを示します。	この IP アドレスは、DHCP サーバを通じて割り当て可能です。
Op VLAN ID	Cisco Unified IP Conference Station がメンバーになっている VLAN (バーチャル LAN) を示します。	VLAN ID は、Cisco Discovery Protocol (CDP) を通じて Cisco Unified IP Conference Station に割り当てられます。

■ システム設定値の確認

表 3-2 Cisco Unified Conference Station でのシステム確認ステップ (続き)


システム設定値	説明	使用上の注意
Adm VLAN ID	Cisco Unified IP Conference Station がメンバーになっている管理 VLAN を示します。	管理 VLAN ID は、システム管理者によって Cisco Unified IP Conference Station に割り当てられます。P.3-16 の「VLAN オプションの設定」を参照してください。  (注) VLAN ID が CDP を通じて割り当てられた場合、この設定は無視されません。
CallManager 1 (CM1) Address、 CallManager 2 (CM2) Address、 CallManager 3 (CM3) Address、 CallManager 4 (CM4) Address、 CallManager5 (CM5) Address	この Cisco Unified IP Conference Station からのコールの処理に使用できる Cisco Unified CallManager システムを示します。 Cisco Unified CallManager アドレスのうちいずれか 1 つがアクティブ (A) として画面に表示され、その他のアドレスはスタンバイ (S) として表示されます。	これらの IP アドレスは、Cisco Unified CallManager によって自動的に設定されません。 アドレス ソースは、Addr、TFTP、または SRST によって示されます。「Addr」は、アドレスが電話機の設定から取得されたことを示します。「TFTP」は、TFTP アドレスを示します。「SRST」は、電話機の設定からの SRST サーバを示します。
TFTP Server 1、 TFTP Server 2、 TFTP Server 3	コンフィギュレーション ファイルおよび IP Conference Station のファームウェアを取得するのに IP Conference Station が使用するトリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) のサーバ IP アドレスを示します。	この IP アドレスは、DHCP が使用可能になっている場合は、自動的に設定されます。 Alternate TFTP Usage が使用可能になっている場合、または DHCP が使用不可能になっている場合は、TFTP サーバ 1 を手動で設定する必要があります。Alternate TFTP Usage が使用可能になっている場合、または DHCP が使用不可能になっている場合は、TFTP サーバ 2 および 3 を手動で設定できます。
DSP Version	Cisco Unified IP Conference Station 上にロードされている DSP バージョンを示します。	この番号は、Cisco Unified IP Conference Station によって自動的に設定されます。

表 3-2 Cisco Unified Conference Station でのシステム確認ステップ (続き)

システム設定値	説明	使用上の注意
Alt TFTP	代替 TFTP サーバが使用可能になっているか否かを示します (yes/no)。	この設定は、手動で指定する必要があります。
Boot Load ID	電話のファームウェアの現在のロード ID を示します。	これは、IP Conference Station によって自動的に設定されます。
App Load ID	電話のソフトウェアの現在のロード ID を示します。	これは、IP Conference Station によって自動的に設定されます。
HW (hardware) Revision	ハードウェア改訂レベルを示します。	この番号は、IP Conference Station によって自動的に設定されます。
SW (software) Version	IP Conference Station 上にロードされているファームウェア バージョンを示します。	この番号は、IP Conference Station によって自動的に設定されます。
Dial Tone	IP Conference Station 上のダイヤル音の設定を示します。	デフォルト値は Tone 1 です。
Ringer	IP Conference Station 上の呼び出し音の設定を示します。	5 種類の呼び出し音があります。呼び出し音をオフにすることもできます。この場合は、LCD スクリーンに Ring Off と表示されます。デフォルトの呼び出し音は Pro Ring です。
Time	IP Conference Station 上の時刻設定を示します。	時刻形式設定には、12 時間制と 24 時間制の 2 種類があります。
Date	IP Conference Station 上の日付設定を示します。	日付形式設定には、MM/DD/YY と DD/MM/YY の 2 種類があります。
Codec	IP Conference Station 上の圧縮設定を示します。	これは、IP Conference Station によって自動的に設定されます。
Net Config	IP Conference Station 上のイーサネットポート設定を示します。	この設定には、全二重または半二重を指定できません (FDX または HDX)。
Net Speed	IP Conference Station 上のイーサネットポート速度の設定を示します。	この設定には、10 Mbps、100 Mbps、または Auto を指定できます。デフォルトでは Auto に設定されています。

■ システム設定値の確認

表 3-2 Cisco Unified Conference Station でのシステム確認ステップ (続き)

システム設定値	説明	使用上の注意
HTTP Port	ユーザが Web インターフェイスにアクセスするときに使用する HTTP ポートを示します。	デフォルトの HTTP ポートは 80 です。このポート番号は、任意の番号に設定できます。デフォルト値を変更した場合は、Web インターフェイスにアクセスするときに、IP Conference Station の IP アドレスにサフィックスとしてポート番号を付加する必要があります。
Elapsed Time	最後のレポートからの経過時間を示します。	この値は、Cisco Unified IP Conference Station によって自動的に更新されます。
DSCP Call Ctl	Cisco Unified CallManager と装置間の通信に使用されるプロトコル インターフェイスに対する DSCP 分類を示します。	このパラメータは、Cisco Unified CallManager を通じて割り当てられます。
DSCP Config	電話機の設定に必要な任意の TFTP アクセス、DNS アクセス、DHCP アクセスなど、SCCP ベースの任意の電話機の設定に対する DSCP 分類をインターフェイスします。	このパラメータは、Cisco Unified CallManager を通じて割り当てられます。
DSCP Services	任意の HTTP トラフィックなど、SCCP ベースの電話機上の IP 電話サービスに対する DSCP 分類を示します。	このパラメータは、Cisco Unified CallManager を通じて割り当てられます。

ネットワーク設定値へのアクセス

IP Conference Station のネットワーク設定にアクセスするには、Admin Setup を通じてログインする必要があります。

ネットワーク設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
 - ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
 - ステップ 3** Select ボタンを押します。
 - ステップ 4** 管理者パスワードを入力します（デフォルトの管理者パスワードは **# です）。
 - ステップ 5** Enter ソフトキーを押します。
 - ステップ 6** Up または Down スクロール ボタンを押して Network Setup を選択し、次に Select ボタンを押します。
-

これで、特定のネットワーク パラメータ、たとえば、DHCP、静的 IP アドレッシング、IP マスク、DNS、管理 VLAN、代替 TFTP にアクセスし、変更を加えることができます。

すべての変更が完了した後、変更内容を保存するように求められます。YES を選択すると、電話機が変更内容を保存してリポートします。NO を選択すると、すべての変更内容が廃棄されます。



(注) Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して、ネットワーク オプションを変更することもできます。P.3-44 の「[Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

■ ネットワーク設定値へのアクセス

DHCP 設定の変更

装置をネットワークに接続すると、DHCP は、自動的にその装置に IP アドレスを割り当てます。DHCP を使用可能または使用不可にするには、この項の該当する手順を実行してください。

DHCP を使用可能にする

デフォルトでは、DHCP は使用可能になっています。

使用不可になっている場合に DHCP をリセットするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Network Setup メニューで **Up** または **Down** スクロール ボタンを押して、DHCP を選択します。

DHCP が使用不可である場合は、このオプションは次のように表示されます。

DHCP Disabled

ステップ 2 **Enable** ソフトキーを押して、DHCP を使用可能にします。

ステップ 3 **Save** ソフトキーを押します。

DHCP を使用不可にする

ご使用のネットワーク内で DHCP を使用しない場合は、DHCP を使用不可にすることができます。

DHCP を使用不可にすると、静的 IP アドレスとルータ IP アドレスの設定が有効になります。

手動で IP アドレスを Cisco Unified IP Conference Station に割り当てる前に DHCP を使用不可にするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Network Setup メニューで **Up** または **Down** スクロール ボタンを押して、DHCP を選択します。

DHCP が使用可能である場合は、このオプションは次のように表示されます。

DHCP Enabled

ステップ 2 **Disable** ソフトキーを押して、DHCP を使用不可にします。

ステップ 3 **Save** ソフトキーを押します。

ステップ 4 **Yes** ソフトキーを押して変更内容を保存します。取り消す場合には、**No** を押します。

ステップ 5 **Exit** ボタンを押して、待機画面メニューに戻ります。

IP 設定値の設定

次のガイドラインと共に以下の各項の情報を使用して、Cisco Unified IP Conference Station の IP 設定を手動で設定します。

- サブネット マスクに 0.0.0.0 を使用できるのは、デフォルト ゲートウェイも 0.0.0.0 の場合だけです。
- TFTP サーバに IP アドレスがあることを確認してください。
- デフォルト ゲートウェイ IP アドレスが、ホスト IP アドレスと同じサブネット上にあることを確認してください。

静的 IP アドレスの割り当て



(注) 手動で IP アドレスを割り当てることができるのは、DHCP が使用不可になっている場合だけです。

IP アドレスは、TCP/IP ネットワーク上で各ホスト コンピュータ、またはノードを識別する固有の論理アドレスです。IP アドレスは、32 ビット数であり、ピリオドで区切られた、0 ~ 255 の 10 進数の 4 組として表示されます。

各 IP アドレスには、次の 2 つの部分があります。

- ネットワーク ID：同じ物理ネットワークにあるすべてのホストを識別します。
- ホスト ID：ネットワークの特定のホストを識別します。

IP アドレスを手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、IP address を選択します。

現在の IP アドレスが表示されます。

ステップ 2 <ソフトキーを使用して、現在の IP アドレスを削除します。

ステップ 3 ダイヤル ボタンを使用して、新しい IP アドレスを入力します。

ピリオド(.)を入力するには、ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには <ソフトキーを使用します。

ステップ 4 Validate ソフトキーを押して、IP アドレス、マスク、およびルータを確認します。Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

サブネット マスクの割り当て



(注) 手動でサブネット マスクを割り当てることができるのは、DHCP が使用不可になっている場合だけです。

サブネット マスクは、IP アドレスをネットワーク ID とホスト ID に区切るのに使われます。サブネット マスクは、TCP/IP がネットワーク ID をホスト ID と区別できるように、IP アドレスの一部をマスクするのに使われます。

サブネット マスクを手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、IP Mask を選択します。

現在の IP マスクが表示されます。

ステップ 2 <ソフトキーを使用して、現在のサブネット マスクを削除します。

ステップ 3 ダイヤル ボタンを使用して、新しいサブネット マスクを入力します。

ピリオド(.)を入力するには、ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには<ソフトキーを使用します。

ステップ 4 Validate ソフトキーを押して、IP アドレス、マスク、およびルータを確認します。Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

デフォルト ゲートウェイの割り当て



(注) 手動でデフォルト ゲートウェイを割り当てることができるのは、DHCP が使用不可になっている場合だけです。

手動で Cisco Unified IP Conference Station に IP アドレスを割り当てると、使用するデフォルト ゲートウェイを割り当てることができます。

デフォルト ゲートウェイを手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、Router 1 を選択します。

現在のルータ IP アドレスが表示されます。

ステップ 2 <ソフトキーを使用して、現在の IP アドレスを削除します。

ステップ 3 ダイヤル ボタンを使用して、新しい IP アドレスを入力します。

ピリオド(.)を入力するには、ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには <ソフトキーを使用します。

ステップ 4 **Validate** ソフトキーを押して、IP アドレス、マスク、およびルータを確認します。**Save** ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

ドメイン名の割り当て

ドメイン名は、IP Conference Station が置かれているドメイン ネーム システム (DNS) のドメインの名前です。

DNS は、ネットワーク ノードの名前をアドレスに変換するために、インターネットで使用されます。DNS の詳細については、『[Understanding the Domain Name System](#)』を参照してください。

ドメイン名を手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、Domain を選択します。

現在のドメインが表示されます。

ステップ 2 ダイヤル ボタンを使用して、新しいドメイン名を入力します。

文字を入力するには、その文字に関連付けられている数字を使用してください。

たとえば、数字 2 のキーには、文字 ABC が関連付けられています。小文字の「a」を入力する場合は、2 を 2 回押します。繰り返し 2 キーを押して、使用可能な文字と数字全体をスクロールしてください。選択した文字が画面上に表示されたら、停止します。

入力ミスを訂正するには、< ソフトキーを押します。ピリオド (.)、スペース、ダッシュ (-) または下線 (_) 文字を使用するには、.sp_ ソフトキーを押します。

ステップ 3 Validate ソフトキーを押して、ドメイン名の形式を確認します。

ステップ 4 Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

■ ネットワーク設定値へのアクセス

DNS サーバの割り当て

DNS を使用すると、ユーザは、リモート コンピュータの指定に、単なる一連の数字である IP アドレスではなく、記憶し易い文字列であるホスト名を使用できます。

システムが IP アドレスではなく名前を使用して設定されている場合、Cisco Unified IP Conference Station は DNS サーバを使用して、TFTP サーバのホスト名、Cisco Unified CallManager システム、および Web サーバのホスト名を解決します。

DNS サーバを手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、DNS を選択します。

ステップ 2 ダイヤル ボタンを使用して、新しい DNS サーバアドレスを入力します。

ピリオド (.) を入力するには、. ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには、< ソフトキーを使用します。

ステップ 3 Validate ソフトキーを押して、DNS IP アドレスを確認します。

ステップ 4 Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

VLAN オプションの設定

Cisco Unified IP Conference Station が使用する管理 VLAN は変更できます。ただし、補助 VLAN を Cisco Catalyst スイッチに割り当てた場合は、これによって Cisco Unified IP Conference Station で行った変更がすべて上書きされます。

Cisco Unified IP Conference Station の管理 VLAN ID を手動で設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Up または Down スクロール ボタンを押して、Adm VLAN を選択します。
 - ステップ 2** <ソフトキーを押して、現在の VLAN ID を消去します。
 - ステップ 3** ダイヤル ボタンを使用して、新しい VLAN ID を入力します (0 ~ 4094)。
 - ステップ 4** Validate ソフトキーを押して、VLAN ID を確認します。Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。
-

代替 TFTP オプションの設定

ネットワークで DHCP が使用可能になっている場合は、Cisco Unified IP Conference Station が使用する TFTP サーバの IP アドレスは自動的に割り当てられます。この設定は変更できませんが、コンフィギュレーション ファイルおよびファームウェアを取得するのに Cisco Unified IP Conference Station が使用する代替 TFTP サーバを手動で設定することによって、TFTP サーバの設定を上書きできます。

ネットワークで DHCP が使用不可になっている場合は、Cisco Unified IP Conference Station が使用する TFTP サーバ 1 を手動で設定する必要があります。オプションで、TFTP サーバ 2 および 3 を設定できます。

代替 TFTP サーバを設定するには、[P.3-17](#) の「代替 TFTP サーバの使用方法」を参照してください。

代替 TFTP サーバの使用方法

Cisco Unified IP Conference Station が DHCP を介して受信した TFTP サーバの設定を上書きする場合は、手動で代替 TFTP サーバを使用可能にする必要があります (Cisco Unified IP Conference Station を特定の TFTP サーバにポイントする場合は、このオプションを使用します)。

■ ネットワーク設定値へのアクセス

代替 TFTP サーバを使用可能にするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、Alt TFTP を選択します。

Cisco Unified IP Conference Station が代替 TFTP サーバを使用していない場合は、このオプションは次のように表示されます。

Alt TFTP NO.

ステップ 2 Yes ソフトキーを押します。

Alternate TFTP オプションが Yes と表示されます。

ステップ 3 Down スクロール ボタンを押して、Alt TFTP Addr を選択します。

ダイヤル ボタンを使用して、新しい代替 TFTP サーバのアドレスを入力します。

ピリオド(.)を入力するには、ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには、<ソフトキーを使用します。

ステップ 4 Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

ステップ 5 TFTP Server 1 フィールドで、TFTP サーバのアドレスを割り当てます。

TFTP サーバのアドレスの割り当て

ネットワークで DHCP が使用不可になっている場合、または DHCP が使用可能で Alternate TFTP Usage が YES である場合は、Cisco Unified IP Conference Station が使用する TFTP サーバ 1 を手動で設定する必要があります。オプションで、TFTP サーバ 2 および 3 を設定できます。

TFTP サーバのアドレスを割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、IP address を選択します。

現在の IP アドレスが表示されます。

ステップ 2 <ソフトキーを使用して、現在の IP アドレスを削除します。

ステップ 3 ダイヤル ボタンを使用して、新しい IP アドレスを入力します。

ピリオド(.)を入力するには、ソフトキーを使用します。入力ミスを訂正するには <ソフトキーを使用します。

ステップ 4 **Validate** ソフトキーを押して、IP アドレス、マスク、およびルータを確認します。**Save** ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

イーサネット ポート設定の割り当て

イーサネット ポート設定を割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Up または Down スクロール ボタンを押して、Port Config を選択します。現在のイーサネット ポート設定が表示されます。

ステップ 2 目的のモードが表示されるまで **Next Mode** ソフトキーを押します。

ステップ 3 **Save** ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

HTTP ポートの設定

セキュリティを高めるために、HTTP ポート番号を変更できます。

HTTP ポート番号を設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
 - ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
 - ステップ 3** Select ボタンを押します。
 - ステップ 4** 管理者パスワードを入力します（デフォルトの管理者パスワードは **# です）。
 - ステップ 5** Enter ソフトキーを押します。
 - ステップ 6** Up または Down スクロール ボタンを押して HTTP Port Change を選択し、次に Select ボタンを押します。
 - ステップ 7** HTTP Port フィールドに、新しい HTTP ポート番号を入力します。



(注) デフォルト値は 80 です。任意の番号を入力できます。Web インターフェイスにアクセスするときに、Cisco Unified IP Conference Station の IP アドレスのサフィックスとして、この番号を使用する必要があります。

- ステップ 8** Save ソフトキーを押して、変更内容を保存します。
-

ファームウェアバージョン情報の確認

Cisco Unified IP Conference Station にインストールされているファームウェアバージョンについての情報を入手できます。

Cisco Unified IP Conference Station 上のファームウェアバージョンを確認するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
 - ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
 - ステップ 3** Select ボタンを押します。
 - ステップ 4** 管理者パスワードを入力します（デフォルトの管理者パスワードは **# です）。
 - ステップ 5** Enter ソフトキーを押します。
 - ステップ 6** Up または Down スクロール ボタンを押して、System Information を選択します。
 - ステップ 7** Select ボタンを押します。
 - ステップ 8** Up または Down スクロール ボタンを押して、SW Version を選択します。
- ファームウェアバージョン番号が表示されます。
-

Cisco Unified IP Conference Station のリセット

Cisco Unified IP Conference Station をリセットするには、電話機がメニュー スクリーンになっているときに、ダイヤル ボタンで***#** を押します。Restarting というメッセージが表示されます。

Cisco Unified IP Conference Station が再起動し、起動プロセスを実行します。



注意

Cisco Unified IP Conference Station をリセットすると、保存されていない変更内容はすべて失われ、以前の設定値に戻ります。

ローカル設定の消去

ローカルに保存されている設定オプションをすべて消去する場合は、DHCP を使用可能にすることを含めて、すべての設定値を出荷時のデフォルト値に復元することで、消去できます。



注意

ローカル設定を消去すると、Cisco Unified IP Conference Station でローカルにユーザが定義して加えた変更（電話帳への変更を含む）はすべて削除されます。このオプションを選択すると、これらの設定値が元のデフォルト値に戻ります。

デフォルト設定値を復元するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
- ステップ 3** Select ボタンを押します。
- ステップ 4** 管理者パスワード（デフォルトの管理者パスワードは ***) を入力し、Enter ソフトキーを押します。
- ステップ 5** Down スクロール ボタンを押して、Restore Defaults を選択します。
- ステップ 6** Select ボタンを押します。

次のメッセージが表示されます。

```
All settings and data will be lost, including the Phone Book entries.  
Press Yes to confirm or No to exit.
```

ローカル設定の消去

ステップ7 復元を確認するには Yes ソフトキーを押し、終了するには No ソフトキーを押し
ます。

設定値がデフォルト値に復元されたことを確認するメッセージが表示され、
Cisco Unified IP Conference Station が再起動します。



(注) Cisco Unified IP Conference Station を再起動する前に、すべてのコールを
終了しておく必要があります。

デフォルト設定値

表 3-3 は、Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値を示しています。

表 3-3 Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値

設定 (デフォルト値)	有効な オプション	管理者による コントロール	ユーザによる コントロール	注
管理者パスワード (**#)	-	あり	なし	
エンドユーザ パスワード (7936)	-	あり	なし	
CM1 アドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager に よって(.cnf.xml ファイルを 介して) 設定されます。
CM2 アドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager に よって(.cnf.xml ファイルを 介して) 設定されます。
CM3 アドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager に よって(.cnf.xml ファイルを 介して) 設定されます。

表 3-3 Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値 (続き)

設定 (デフォルト値)	有効なオプション	管理者によるコントロール	ユーザによるコントロール	注
CM4 アドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって (.cnf.xml ファイルを介して) 設定されます。
CM5 アドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって (.cnf.xml ファイルを介して) 設定されます。
TFTP サーバ 1 のアドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	DHCP サーバによって設定されます。Alternate TFTP Usage が Yes に設定されている場合、または DHCP が使用不可の場合、ユーザが設定する必要があります。
TFTP サーバ 2 のアドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	DHCP サーバによって設定されます。Alternate TFTP Usage が Yes に設定されている場合、または DHCP が使用不可の場合、ユーザが設定できます。
TFTP サーバ 3 のアドレス (デフォルトなし)	-	なし	なし	DHCP サーバによって設定されます。Alternate TFTP Usage が Yes に設定されている場合、または DHCP が使用不可の場合、ユーザが設定できます。
代替 TFTP サーバ (No)	Yes/No	あり	なし	選択可能。
DHCP (Enable)	Enable/Disable	あり	なし	

■ ローカル設定の消去

表 3-3 Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値 (続き)

設定 (デフォルト値)	有効なオプション	管理者によるコントロール	ユーザによるコントロール	注
イーサネット ポート 設定 (Auto)	Autosensing 100-Mbps FDX 100-Mbps HDX 10-Mbps FDX 10-Mbps HDX	あり	なし	選択可能。
HTTP ポート (ポート番号 80)	1 - 442	あり	なし	選択可能。
IP アドレス (デフォルトなし)	-	あり	なし	静的に割り当てるか、または DHCP で割り当てることができます。
IP サブネット マスク (デフォルトなし)	-	あり	なし	
ルータ 1 (デフォルトなし)	-	あり	なし	この IP アドレスは、DHCP が使用可能になっている場合は、自動的に設定されます。
ドメイン名 (デフォルトなし)	-	あり	なし	DHCP サーバによって割り当てられます。
DNS アドレス (デフォルトなし)	DNS サーバの IP アドレス	あり	なし	DHCP サーバによって割り当てられます。
Admin VLAN ID (ブランク)	0 - 4094	あり	なし	設定可能な VLAN ID。
Op VLAN ID (デフォルトなし)	-	なし	なし	CDP によって割り当てられます。
言語 (English)	English	あり	あり	現在のリリースで使用可能なオプションは、English のみです。

表 3-3 Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値 (続き)

設定 (デフォルト値)	有効なオプション	管理者によるコントロール	ユーザによるコントロール	注
圧縮 (デフォルトなし)	G.711 a-law/u-law、 G.729a	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって設定されます。
LCD スクリーンの コントラスト (レベル 6)	レベル 1 ~ 15	あり	あり	ユーザ選択可能。
バックライト (On)	On/Off	あり	あり	ユーザ選択可能。
ローカル番号 (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって設定されます。
電話帳 (デフォルトなし)	20 エントリまで	あり	あり	
呼び出し音 (Pro Ring)	Pro、Biz、Euro、 Chirp、Bell、 Ringer Off	あり	あり	ユーザ選択可能。
ダイヤル音 (Tone 1)	Tone 1	あり	あり	現在のリリースで使用可能なオプションは、Tone 1 のみです。
音量 (レベル 21)	レベル 1 ~ 29	あり	あり	ユーザ選択可能。
時刻 (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって設定されます。
時刻形式 (12-hour)	12-hour (12 時制) 24-hour (24 時制)	あり	あり	ユーザ選択可能。
日付 (デフォルトなし)	-	なし	なし	Cisco Unified CallManager によって設定されます。
日付形式 (MM/DD/YY)	MM/DD/YY または DD/MM/YY	あり	あり	ユーザ選択可能。

■ ローカル設定の消去

表 3-3 Cisco Unified IP Conference Station のデフォルト設定値 (続き)

設定 (デフォルト値)	有効なオプション	管理者によるコントロール	ユーザによるコントロール	注
ブートロード ID	-	なし	なし	アプリケーション ロードに埋め込まれ、Cisco Unified IP Conference Station によって設定されます。
アプリケーションロード ID	-			Cisco Unified CallManager によって設定されます。

1. 管理 VLAN を設定しない場合、このオプションはブランクです。

アプリケーション ロードのアップグレード

Cisco Unified IP Conference Station 上のアプリケーション ロードは、Cisco Unified CallManager からしかアップグレードできません。

アプリケーション ロードをアップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/ip-7900se> の Software Download Center から、新しいアプリケーション ロードをダウンロードします。

アプリケーション ロード ID に使用される形式の例を示します。

cmterm_7936.3-3-2-0

ステップ 2 この新しいロードを C:\Program Files\Cisco\TFTPPath ディレクトリにコピーします。

ステップ 3 Cisco Unified CallManager の管理ページを起動します。

ステップ 4 [デバイス] > [デバイスの設定] > [デバイスのデフォルト] の順に選択します。

ステップ 5 [デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウで、Cisco 7936 デバイスタイプまで下方にスクロールします。

ステップ 6 [ロード情報 (Load Information)] を、ダウンロードした新しいロードに変更します。

ステップ 7 [更新] をクリックします。

ステップ 8 すべての Cisco Unified IP Conference Station をリセットして、新しいロードを受け取るようにします。

■ アプリケーション ロードのアップグレード

アプリケーション ロードの更新中に、Cisco Unified IP Conference Station の LCD スクリーンに次のようなメッセージが表示されます。

アップグレード成功の場合のメッセージ テキスト

Rebooting

(Cisco Unified CallManager を介してリセットする
場合) または

```
Restarting
(when reset by pressing ***)
Cisco Systems, Inc.
Polycom Technology
Copyright 2003
Configuring IP
Press Menu to Reconfigure
Station IP: (IP address)
Contacting: (TFTP Server)
Upgrading... (percentage) done
DO NOT POWER OFF
Upgrading 100% done
Rebooting
Cisco Systems, Inc.
Polycom Technology
Copyright 2003
Configuring IP
Press Menu to Reconfigure
Station IP: (IP address)
Contacting: (TFTP Server)
Opening: CM IP address; Registering
```

アップグレード失敗の場合のメッセージ テキスト

Rebooting

(Cisco Unified CallManager を介してリセットする
場合) または

```
Restarting
(when reset by pressing ***)
Cisco Systems, Inc.
Polycom Technology
Copyright 2003
Configuring IP
Press Menu to Reconfigure
Station IP: (IP address)
Contacting: (TFTP Server)
Upgrading... (percentage) done
DO NOT POWER OFF
Upgrading 0% done
File not found in TFTP Server
USING EXISTING VERSION
or
Error in upgrade file format
USING EXISTING VERSION
or
Bad Checksum in upgrade file
USING EXISTING VERSION
```

管理者パスワードの変更

管理者パスワードを変更するには、次の手順を実行します。



Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して、管理者オプションを変更できます。P.3-44 の「[Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup メニューを選択します。
- ステップ 3** Select ボタンを押します。
- ステップ 4** 管理者パスワードを入力します (デフォルトの管理者パスワードは **# です)。
- ステップ 5** Enter ソフトキーを押します。
- ステップ 6** Up または Down スクロール ボタンを押して Change Passcode を選択し、次に Select ボタンを押します。
 - a.** ダイヤル ボタンを使用して、Passcode フィールドに新しいパスワードを入力します。
入力ミスを訂正するには、<ソフトキーを使用します。
 - b.** Confirm フィールドに、新しいパスワードをもう一度入力します。
- ステップ 7** Save ソフトキーを押して新しいパスワードを保存します。保存せずに終了する場合には、Cancel ソフトキーを押します。

Diagnostics メニューの使用法

Diagnostics メニューを使用すると、Cisco Unified IP Conference Station のネットワーク統計情報を表示して、別の装置の IP アドレスに ping を実行することができます。

Cisco Unified IP Conference Station のネットワーク統計情報を表示する方法については、[P.4-2 の「ネットワーク統計情報の表示」](#)を参照してください。

Diagnostics メニューを使用して Cisco Unified IP Conference Station から別の装置に ping を実行する方法については、[P.4-4 の「ping の使用方法」](#)を参照してください。

詳細なトラブルシューティング情報については、[第 4 章「Cisco Unified IP Conference Station 7936 のトラブルシューティング」](#)を参照してください。

Settings メニューでの設定変更

Settings メニューを使用して、Cisco Unified IP Conference Station の設定を変更できます。

コントラスト設定の変更

Cisco Unified IP Conference Station のコントラスト設定を変更するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
 - ステップ 2** Settings を選択してから、Select ボタンを押します。
 - ステップ 3** Up または Down スクロール ボタンを押して、Contrast を選択します。
 - ステップ 4** 「+」または「-」ソフトキーを押して、LCD スクリーンのコントラストを明るくまたは暗くします。
 - ステップ 5** Exit ボタンを押して、このメニューを終了します。
-

バックライト設定の変更

Cisco Unified IP Conference Station のバックライト設定を変更するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
 - ステップ 2** Settings を選択してから、Select ボタンを押します。

- ステップ 3** Up または Down スクロール ボタンを押して、Backlight を選択します。
- ステップ 4** On または Off ソフトキーを押して、LCD スクリーンのバックライトをオンまたはオフにします。
- ステップ 5** Exit ボタンを押して、このメニューを終了します。
-

呼び出し音の種類の設定の変更

Cisco Unified IP Conference Station の呼び出し音の種類の設定を変更するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Settings を選択してから、Select ボタンを押します。
- ステップ 3** Up または Down スクロール ボタンを押して、Ringer を選択します。
- ステップ 4** Change ソフトキーを押します。
- ステップ 5** Up または Down スクロール ボタンを押して、呼び出し音の種類のエントリを選択してから、Listen ソフトキーを押して選択した音を聞きます。

5 種類の呼び出し音があります。呼び出し音をオフにすることもできます。この場合は、LCD スクリーンに Ring Off と表示されます。デフォルトの呼び出し音は Pro Ring です。

別の種類の呼び出し音を選択する場合は、[ステップ 5](#) を繰り返します。

- ステップ 6** Save ソフトキーを押して、呼び出し音の種類を保存します。

ステップ 7 Exit ボタンを押して、このメニューを終了します。

時刻形式の設定の変更

Cisco Unified IP Conference Station の時刻形式の設定を変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Menu ボタンを押します。

ステップ 2 Settings を選択してから、Select ボタンを押します。

ステップ 3 Up または Down スクロール ボタンを押して、Time Format を選択します。

ステップ 4 使用する時刻形式を選択します。

時刻形式設定には、12 時間制と 24 時間制の 2 種類があります。

ステップ 5 Exit ボタンを押して、このメニューを終了します。

日付形式の設定の変更

Cisco Unified IP Conference Station の日付形式の設定を変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Menu ボタンを押します。

■ Settings メニューでの設定変更

ステップ 2 Settings を選択してから、Select ボタンを押します。

ステップ 3 Up または Down スクロール ボタンを押して、Date Format を選択します。

ステップ 4 使用する日付形式を選択します。

日付形式設定には、MM/DD/YY と DD/MM/YY の 2 種類があります。

ステップ 5 Exit ボタンを押して、このメニューを終了します。

社内ディレクトリの設定

Cisco Unified IP Conference Station 上で、従業員の名前と電話番号のディレクトリにアクセスできます。ディレクトリにアクセスする前に、Cisco Unified CallManager でディレクトリを設定する必要があります。

Cisco Unified CallManager の設定

社内ディレクトリを使用するには、Cisco Unified CallManager で設定した Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリにユーザを入力しておく必要があります。

詳細については、Cisco Unified CallManager の管理ページ アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。または、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』および『Cisco Unified CallManager システム ガイド』を参照してください。

社内ディレクトリの使用方法

Cisco Unified CallManager で社内ディレクトリを設定した後、名前または電話番号で社内ディレクトリを検索できます。

名前で検索

社内ディレクトリを名前で検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Corp Dir ソフトキーを押します。

検索画面が表示されます。姓、名前、またはその両方で検索できます。

ステップ 2 キーパッドを使用して、検索条件（姓と名）を入力します。Up または Down スクロール ボタンを押して、フィールドを選択します。

■ 社内ディレクトリの設定

名前で検索するときは、1文字または複数文字を入力して、検索範囲を広げることと絞り込むこともできます。

文字を入力する際には、必要な文字に該当する数字キーを選択し、その文字に相当する回数、そのキーを押します。たとえば、Bを入力するには、2のキーを2回押し、Cを入力するには、2のキーを3回押しします。

検索データの入力中に前に戻るには、<ソフトキーを使用します。

検索を取り消すには、Cancelソフトキーを押します。

ステップ3 Searchソフトキーを押して、検索を開始します。

LCDスクリーンで「Searching...」というメッセージが点滅します。

ステップ4 検索結果が表示された後、UpまたはDownスクロールボタンを使用して、エントリを選択します。

検索結果が32エントリを超えた場合は、more >>ソフトキーを押してからNextソフトキーを押すと、次のエントリグループが表示されます。

前のエントリグループに戻るには、more >>ソフトキーを押してから、Backソフトキーを押します。

Search画面に戻るには、more >>ソフトキーを押してから、NewSearchソフトキーを押します。

ステップ5 Dialソフトキーを押して、電話をかけます。電話をかける前に番号を編集するには、EditDialソフトキーを押します。**ステップ6** ディレクトリを終了するには、CancelソフトキーまたはExitボタンを押します。**電話番号で検索**

社内ディレクトリを電話番号で検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Corp Dir ソフトキーを押します。

検索画面が表示されます。

ステップ 2 Up または Down スクロール ボタンを押して、Number フィールドを選択します。

キーパッドを使用して、番号を入力します。番号で検索するときは、1 つまたは複数の数字を入力して、検索範囲を広げることも絞り込むこともできます。

検索データの入力中に前に戻るには、< ソフトキーを使用します。

検索を取り消すには、Cancel ソフトキーを押します。

ステップ 3 Search ソフトキーを押して、検索を開始します。

LCD スクリーンで「Searching...」というメッセージが点滅します。

ステップ 4 検索結果が表示された後、Up または Down スクロール ボタンを使用して、エントリを選択します。

検索結果が 32 エントリを超えた場合は、more >> ソフトキーを押してから Next ソフトキーを押すと、次のエントリ グループが表示されます。

前のエントリ グループに戻るには、more >> ソフトキーを押してから、Back ソフトキーを押します。

Search 画面に戻るには、more >> ソフトキーを押してから、NewSearch ソフトキーを押します。

ステップ 5 Dial ソフトキーを押して、電話をかけます。電話をかける前に番号を編集するには、EditDial ソフトキーを押します。

ステップ 6 ディレクトリを終了するには、Cancel ソフトキーまたは Exit ボタンを押します。

ローカル ディレクトリの設定

電話帳は、頻繁にダイヤルする電話会議参加者番号を保管する便利な方法です。



(注)

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して、電話帳にアクセスすることもできます。P.3-44 の「[Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

電話帳の使用

頻繁にコールする会議参加者番号のディレクトリとして、電話帳を使用できます。

電話帳を開く

電話帳を開くには、**Ph Book** ソフトキーを押します。

エントリの追加

電話帳にエントリを追加するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 電話帳にエントリを追加するために、**New Entry** ソフトキーを押します。
- ステップ 2** **ダイヤル** ボタンを使用して、新しいエントリに姓名および電話番号を入力します。Up または Down スクロール ボタンを押して、Last、First、または Number フィールドを選択します。

文字を入力する際には、必要な文字に該当する数字キーを選択し、その文字に相当する回数、そのキーを押します。たとえば、B を入力するには、2 のキーを 2 回押し、C を入力するには、2 のキーを 3 回押します。

データの入力中に前に戻るには、< ソフトキーを使用します。

- ステップ 3** **Save** ソフトキーを押して新しいエントリを保存します。保存せずに終了するには、**Exit** ソフトキーを押します。



(注) 電話帳には最大 20 のエントリを追加できます。

エントリの編集

電話帳のエントリを編集するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 電話帳のエントリを編集するために、**Up** または **Down** スクロール ボタンを押してエントリを選択します。**View/Edit** ソフトキーを押します。

Change または **Clr Entry** ソフトキーを使用して、選択したエントリを変更または消去できます。エントリを変更する際に前に戻るには、**<** ソフトキーを押します。

- ステップ 2** **Save** ソフトキーを押して変更内容を保存します。保存せずに終了するには、**Exit** ソフトキーを押します。

- ステップ 3** **Menu** ボタンを押してメイン メニューに戻るか、**Exit** ボタンを押して待機画面に戻ります。

その他の機能

Cisco Unified IP Conference Station では、次のような追加機能もサポートされています。



(注)

これらの追加機能を設定する方法の詳細については、Cisco Unified CallManager の管理ページのマニュアル、または Cisco Unified CallManager の管理ページ アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。

これらの機能を使用する詳細な手順については、『Cisco Unified IP Conference Station 7936 電話ガイド』を参照してください。

- Meet-Me 会議：Cisco Unified IP Conference Station は、Meet-Me 会議をサポートしています。Meet-Me 会議では、他の発信者がダイヤルして電話会議に加わることができます。Meet-Me 会議には、専用の会議電話番号が必要です。
- Call Park (コールパーク)：Cisco Unified IP Conference Station では、指定された番号に通話を保管、つまり「一時的に保持」し、Cisco Unified CallManager システム内の他の任意の電話機（たとえば、別の人のオフィスや会議室の電話機）を使用して、その通話を取り出すことができます。コールパーク番号は、設定する必要があります。
- Call Transfer (コール着信転送)：Cisco Unified IP Conference Station は、コール着信転送の使用をサポートしています。この機能では、現在のコールを別の電話番号に転送できます。
- Call Forwarding (コール自動転送)：Cisco Unified IP Conference Station は、すべての着信コールを別の番号にリダイレクトするコール自動転送をサポートしています。この機能は、CFwdAll ソフトキーを使用して、Cisco Unified IP Conference Station に設定できます。Cisco Unified IP Conference Station から離れている場合は、Cisco Unified CallManager のユーザ オプション Web ページにログインして、コール自動転送をセットアップできます。詳細については、『Cisco Unified IP Conference Station 7936 電話ガイド』を参照してください。

- Call Pickup (コール ピックアップ) と Group Pickup (グループ ピックアップ): Cisco Unified IP Conference Station では、自分の Cisco Unified IP Conference Station 以外の内線電話に着信するコールに応答できます。別の電話機上で着信コール呼び出し音が聞こえたら、コール ピックアップ機能を使用して、そのコールを自分の Cisco Unified IP Conference Station にリダイレクトできます。Cisco Unified IP Conference Station では、2種類のコール ピックアップを使用できます。コール ピックアップとグループ ピックアップは、設定可能なオプション機能です。デフォルトでは、Cisco Unified IP Conference Station はこれらの機能をサポートしていません。
 - コール ピックアップ: 自分のグループ内の着信コールを取ります。この機能を選択すると、該当するコール ピックアップ グループ番号が自動的にダイヤルされます。
 - グループ ピックアップ: 自分のグループ内または他のグループ内の着信コールを取ります。この機能を使用する際には、ユーザが、該当するコール ピックアップ グループ番号をダイヤルする必要があります。
- Remove Last Participant (最後の参加者の削除): Cisco Unified IP Conference Station は、最後の参加者の削除をサポートしています。この機能を使用すると、電話会議の最後の参加者を削除できます。
- Join (参加): Cisco Unified IP Conference Station は、参加機能をサポートしています。この機能を使用すると、2つのコールを参加させて、会議を作成できます。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス

Cisco Unified IP Conference Station の機能の一部は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを介して設定できます。

Web インターフェイスの説明

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスは、Web ブラウザ上で 3 ペインのウィンドウとして表示されます。ブラウザのメニューとツールバーが、ウィンドウの上部に表示され、目次リンクが左側のナビゲーション ペインに表示され、リンクされた情報フィールドや設定フィールドが右側のペインに表示されます。バナーも、右側のペインの右上隅に表示され、Web インターフェイス内のすべてのページに表示されます。バナー情報には、ソフトウェアバージョン、プロトコル タイプ、ブート ロード ID、アプリケーション ロード ID、IP アドレス、MAC アドレス、およびローカル番号が含まれます。



(注) Web インターフェイスの内容は、管理者用とエンドユーザ用とは異なります。管理者画面とエンドユーザ画面の両方で、ログイン パスワードが必要です。

Web インターフェイスの使用方法

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスにアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Web ブラウザを開きます。

ステップ 2 アドレスフィールドに、次のように入力します。

`http://Cisco Unified IP Conference Station の IP アドレス :<HTTP ポート番号>`

設定情報は、入力した IP アドレスに関連付けられている特定の Cisco Unified IP Conference Station に適用されます。



(注) HTTP ポート番号を変更した場合は、その番号を IP アドレスのサフィックスとして使用する必要があります。HTTP ポート番号を変更しなかった場合は、サフィックスを入力する必要はありません。

Web インターフェイスが現れ、最初のログイン ページが表示されます。

ステップ 3 管理者としてログインするには、管理者パスワードを入力して **Login** をクリックします。

デフォルトの管理者パスワードは ****#** です。



(注) IP Conference Station Web ページにログインした後、何も操作しないまま約 20 分経過すると、Web ページはタイムアウトします。この場合は、再びログインする必要があります。

ステップ 4 ログオフするには、**Administrator Logout** をクリックします。

すべての Web ページで使用可能な情報

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスの右上部分に、すべての Web ページで一貫した情報を表示する独立したセクションがあります。

このセクションには、次の情報が含まれます。リストの各項目の後にテキストの例を示します。

- Software Version: 3.3(10.00.0004)
- Protocol Type:SCCP

- Boot Load ID: *PC0503031418*
- Application Load ID: *CMTERM_7936.3-3-2-0*
- IP Address: *10.1.1.11*
- MAC Address: *00c742655892*
- Local Number: *2022*

管理者が行う設定

管理者が行う設定には、次の Web ページが含まれます。

- System Information
- Network Setup
- Phone Book
- Sounds
- Time & Date
- Diagnostics
- Passwords/HTTP Port Change
- Restore Factory Defaults

各ページについては、次の項で説明します。

System Information

System Information Web ページは、デフォルトのページであり、次の読み取り専用の設定情報を表示します。

General 設定値。次の情報で構成されています。

- Language
- Local number
- DHCP
- IP Address
- IP Mask
- Router 1 Address
- Host Name

- Domain Name
- DNS Address
- Operational VLAN ID
- Admin VLAN ID
- CallManager 1 Address
- CallManager 2 Address
- CallManager 3 Address
- CallManager 4 Address
- CallManager 5 Address
- DSCP Call Control
- DSCP Configuration
- DSCP Services
- TFTP Server 1
- TFTP Server 2
- TFTP Server 3
- Alternate TFTP
- Hardware Revision
- Software Version
- DSP Revision
- HTTP Port
- DSCP Call Control
- DSCP Configuration
- DSCP Services

Sound 設定値。次の情報で構成されています。

- Dial Tone
- Ringer

Time/Date 設定値。次の情報で構成されています。

- Time
- Date

Compression 情報。次の情報で構成されています。

- Supported Codecs
- Current Call
- Dynamic Jitter Buffer
- Silence Suppression

Network Configuration 設定値。次の情報で構成されています。

- Ethernet Port Configuration Mode
- Ethernet Port Configuration Speed

Network Setup

Network Setup Web ページでは、次の設定値を変更できます。

- DHCP : IP Conference Station に対して DHCP を使用可能にしたり、使用不可にしたりすることができます。DHCP が使用可能である場合、ネットワークは動的に IP Conference Station に IP アドレスを割り当てます。



DHCP を使用不可にする場合は、手動で IP Conference Station ごとに IP アドレス、IP マスク、およびルータを設定する必要があります。

- ドメイン名と DNS サーバ IP アドレス : Cisco Unified IP Conference Station に対してドメイン名と DNS サーバ IP アドレスを設定できます。
- 管理 VLAN ID : Cisco Unified IP Conference Station に対して管理 VLAN ID を設定できます。VLAN ID は、0 ~ 4094 の数値です。
- TFTP サーバ : Cisco Unified IP Conference Station に対して代替 TFTP サーバを設定できます。
- イーサネット設定 : Cisco Unified IP Conference Station に対してイーサネットポート設定と、イーサネットポート速度を設定できます。

Phone Book

Phone Book Web ページでは、エントリーを簡単に追加、削除、および編集できます。また、電話帳から番号をダイヤルすることもできます。

Phone Book Web ページでは、アルファベット順にエントリーを表示するか、番号だけでエントリーを表示できます。

電話帳を開いてエントリーを表示する

Phone Book Web ページを開くには、ナビゲーション ペインで **Phone Book** をクリックします。

エントリーを表示するには、次の操作を行います。

- アルファベット順：文字の組み合わせのいずれかをクリックします。たとえば、文字「D」で始まるエントリーを表示するには、**DEF** をクリックします。
- 電話番号順：**Dial Numbers Only** をクリックします。

エントリーの追加

電話帳にエントリーを追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Add ボタンをクリックします。

ステップ 2 電話番号、姓名、および会社名を入力します。



(注) 電話番号と姓は必須項目です。

ステップ 3 Add New Entry をクリックします。

他のエントリーを電話帳に追加するには、上記の手順を繰り返します。電話帳には最大 20 のエントリーを追加できます。

エントリの削除

電話帳のエントリを削除するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 削除するエントリを選択します。
 - ステップ 2 Delete ボタンをクリックします。
 - ステップ 3 Delete ボタンをもう一度クリックして、削除を確認します。
-

エントリの編集

電話帳のエントリを編集するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 変更するエントリを選択します。
 - ステップ 2 Edit ボタンをクリックします。
そのエントリに変更を加えます。
 - ステップ 3 Update ボタンをクリックして、変更内容を保存します。
-

電話帳の番号のダイヤル

電話帳の番号をダイヤルするには、ダイヤルするエントリを選択し、**Dial** をクリックします。Web ページに次のメッセージが表示されます。

```
Your call attempt from the web is successful!
```



(注) Phone Book Web ページからダイヤルできるのは、一度に1つのコールだけです。Phone Book Web ページから複数のコールをダイヤルすることはできません。

Sounds

Sounds Web ページでは、呼び出し音や発信音を選択できます。

Sounds Web ページを開く

Sounds Web ページを開くには、ナビゲーション ペインで、目的のエントリを選択し、**Sounds** をクリックします。

呼び出し音の変更

呼び出し音を変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 ドロップダウン リストから呼び出し音を選択します。

5 種類の呼び出し音があります。Pro、Biz、Euro、Chirp、Bell です。Ringer Off (呼び出し音オフ) もあります。



(注) Ringer Off を選択すると、Cisco Unified IP Conference Station の呼び出し音が鳴りません。

ステップ 2 **Set Ringer** をクリックします。

ステップ 3 **Test Ringer** をクリックして、選択した音を試聴します。

Time & Date

通常、時刻と日付は、Cisco Unified CallManager から自動的に設定されます。

Time & Date Web ページでは、Cisco Unified IP Conference Station の LCD スクリーンに表示される時刻と日付の形式を手動で変更できます。表 3-4 は、この Web ページで時刻と日付の形式を設定する方法について説明しています。

表 3-4 Web ページでの時刻と日付の形式の設定

目的	操作
Time & Date Web ページを開く	ナビゲーション ペインにある Time & Date をクリックします。
時刻の形式を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 12 時間制の時刻形式の場合は 12-hour クロック オプションのボタンを選択し、24 時間制の時刻形式の場合は 24-hour クロック オプションのボタンを選択します。 Change をクリックして、変更内容を保存します。
日付の形式を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 月 / 日 / 年の形式の場合は MM/DD/YY のオプション ボタンを選択し、日 / 月 / 年の形式の場合は DD/MM/YY のオプション ボタンを選択し、年 / 月 / 日の形式の場合は YY/MM/DD のオプション ボタンを選択します。 Change をクリックして、変更内容を保存します。

Diagnostics

Diagnostics Web ページでは、別の装置へのネットワーク接続をテストできます。[表 3-5](#) は、Diagnostic Web ページの使用方法について説明しています。

表 3-5 Diagnostics

目的	操作
Diagnostics Web ページを開く	ナビゲーション ペインにある Diagnostics をクリックします。
接続をテストするために別の装置に ping を実行する	<ol style="list-style-type: none"> ping しようとする装置の IP アドレスまたは名前を入力します。 Ping をクリックします。 <p>接続が確立されている場合は、装置から応答が返されます。ping 要求がタイムアウトした場合は、装置間の接続が失われています。この問題を解決するには、装置の物理的な接続をチェックすることから始めます。</p>

Passwords/HTTP Port Change

Passwords/HTTP Port Change Web ページでは、管理者およびユーザのログインパスワードを変更できます。[表 3-6](#) は、Password/HTTP Port Change Web ページの使用方法について説明しています。

表 3-6 Passwords/HTTP Port Change



目的	操作
Password Web ページを開く	1. ナビゲーション ペインにある Passwords/HTTP Port Change をクリックします。

表 3-6 Passwords/HTTP Port Change (続き)

目的	操作
管理者パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Old Admin Password フィールドに、現在の管理者パスワードを入力します。 2. New Admin Password フィールドに、新しい管理者パスワードを入力します。 3. Confirm Admin Password フィールドに、新しい管理者パスワードを再度入力します。 4. Change をクリックします。
エンドユーザパスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Change User Password をクリックします。 2. Old User Password フィールドに、現在のユーザパスワードを入力します。 3. New User Password フィールドに、新しいユーザパスワードを入力します。 4. Confirm User Password フィールドに、新しいユーザパスワードを再度入力します。 5. Change をクリックします。
HTTP ポートを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Change HTTP Port をクリックします。 2. New HTTP Port フィールドに、新しい HTTP ポート番号を入力します。 <p>次の例を参考にしてください。</p> <p><i>http://Cisco Unified IP Conference Station の IP アドレス:<HTTP ポート番号></i></p> <p>デフォルト値は 80 です。HTTP ポート番号を変更した場合は、Web インターフェイスにアクセスするときに、Cisco Unified IP Conference Station の IP アドレスの後ろに HTTP ポート番号を追加する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Change をクリックします。

Restore Factory Defaults

Restore Factory Defaults Web ページでは、Cisco Unified IP Conference Station に出荷時のデフォルト設定値を復元できます。

目的	操作
Restore Factory Defaults Web ページを開く	 注意 出荷時のデフォルト値を復元すると、電話帳エントリを含めて、現在の設定値、コンフィギュレーション、およびデータがすべて失われます。 Restore Factory Defaults をクリックします。  (注) デフォルト設定値のリストについては、 P.3-24 の「デフォルト設定値」 を参照してください。



Cisco Unified IP Conference Station 7936 のトラブルシューティング

Cisco Unified IP Conference Station には、発生した問題のトラブルシューティングに役立つ診断機能が、LCD インターフェイスに組み込まれています。

Cisco Unified IP Conference Station をトラブルシューティングする際には、この章の該当する内容を参照してください。

- [ネットワーク統計情報の表示 \(P.4-2\)](#)
- [ping の使用方法 \(P.4-4\)](#)
- [その他のトラブルシューティング情報 \(P.4-5\)](#)

ネットワーク統計情報の表示

Diagnostics メニューを使ってネットワーク統計情報を表示できます。



(注) ネットワーク統計情報は、Web インターフェイスでは利用できません。

ネットワーク統計情報を表示するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup を選択します。
- ステップ 3** Select ボタンを押します。
- ステップ 4** 管理者パスワード(デフォルトの管理者パスワードは ***)を入力し、次に **Enter** ソフトキーを押します。
- ステップ 5** Up または Down スクロール ボタンを押して Diagnostics を選択し、次に **Select** ボタンを押します。
- ステップ 6** Network Statistics を選択し、**Select** ボタンを押します。

次の統計情報が表示されます。

- Network stats (たとえば、Auto-FDX-100Mbps または 10Mbps-HDX)
- Rcv : 受信したフレーム数
- Xmt : 送信したフレーム数
- REr : エラーで受信したフレーム数
- BCast : ブロードキャスト フレーム数

現在のカウンタを消去し、現在のセッションに対してすべてのカウンタをゼロから開始するには、**Clear** ソフトキーを使用します。

ステップ7 Menu ボタンを押して Diagnostics メニューに戻るか、Exit ボタンを押して待機画面に戻ります。

ping の使用方法

別の装置とのネットワーク接続をテストするには、ping を使用します。ping は Diagnostics メニューから利用できます。

ping を使用するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Menu ボタンを押します。
- ステップ 2** Up または Down スクロール ボタンを押して、Admin Setup を選択します。
- ステップ 3** Select ボタンを押します。
- ステップ 4** 管理者パスワード(デフォルトの管理者パスワードは ***)を入力し、次に Enter ソフトキーを押します。
- ステップ 5** Up または Down スクロール ボタンを押して Diagnostics を選択し、次に Select ボタンを押します。
- ステップ 6** Ping を選択し、Select ボタンを押します。
- ステップ 7** ダイヤル ボタンを使用して、ping しようとする装置の IP アドレスを入力します。
ピリオド(.)を入力するには、. ソフトキーを押します。入力ミスを訂正するには、< ソフトキーを押します。
- ステップ 8** Execute ソフトキーを押します。


次のメッセージとほぼ同じ応答メッセージが表示されます。

Reply from 0.0.0.0
- ステップ 9** Menu ボタンを押して Diagnostics メニューに戻るか、Exit ボタンを押して待機画面に戻ります。

その他のトラブルシューティング情報

表 4-1 は、Cisco Unified IP Conference Station で発生する可能性のある問題のトラブルシューティング情報を示しています。

表 4-1 トラブルシューティング情報

問題の説明	解決法
LCD スクリーン メッセージの表示	<p>「Obtaining IP Address」というメッセージが LCD スクリーンに継続して表示される場合は、DHCP サーバをチェックし、ネットワーク接続を確認してください。</p> <p>「Cannot contact TFTP Server」というメッセージが LCD スクリーンに継続して表示される場合は、TFTP サーバが動作しているかどうかを確認してください。</p>
<p>G.729 コーデックを使ってデジタル携帯電話と通話するときの音声品質が悪い</p> <p> 注意 Cisco Unified IP Phone の非常に近くで携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを使用すると、干渉が起こる場合があります。詳細については、干渉が発生している装置のメーカーのマニュアルを参照してください。</p>	<p>Cisco Unified CallManager で、G.729 コーデックを使用するようにネットワークを設定できます（デフォルトは G.711）。G.729 コーデックが使用されると、Cisco Unified IP Conference Station とデジタル携帯電話間の通話音声の品質が悪くなります。G.729 コーデックは、必要な場合だけ使用してください。</p> <p>詳細については、Cisco Unified CallManager アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。</p>
発信音が聞こえない	<p>すべての接続が、所定の位置で確実に行われているか否かチェックしてください。</p> <p>すべての接続が正しいことを確認してください。</p>
Cisco Unified IP Conference Station の呼び出し音が鳴らない	<p>呼び出し音の設定が「Ringer Off」になっていないかチェックしてください。</p> <p>音量レベルをチェックしてください。</p>

■ その他のトラブルシューティング情報

表 4-1 トラブルシューティング情報 (続き)

問題の説明	解決法
Cisco Unified IP Conference Station がリセットする	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Conference Station は、Cisco Unified CallManager ソフトウェアとの接続が失われると、リセットされます。 Cisco Unified IP Conference Station で Cisco Unified CallManager ソフトウェアとの接続が失われると、次のステータス メッセージが LCD スクリーンに表示されます。 Registering • Cisco Unified IP Conference Station は、ネットワークとの接続が失われると、リセットされます。 Cisco Unified IP Conference Station でネットワークとの接続が失われると、次のステータス メッセージが LCD スクリーンに表示されます。 Configuring IP <p>これらの接続が失われた原因は、ネットワーク接続の切断（ケーブルの破損、スイッチの停止、およびスイッチのリポートなど）が考えられます。</p>
LCD スクリーンに何も表示されない	Cisco Unified IP Conference Station に電力が供給されていることを確認してください。 電源装置が差し込まれていることを確認してください。
LCD スクリーン表示の問題	建物内で特定タイプの旧式蛍光灯を使用している場合は、LCD スクリーンにビート周波数（走査線）が表示される場合があります。Cisco Unified IP Conference Station をこの蛍光灯から離すか、蛍光灯を交換すると、問題が解決します。
DTMF 遅延	キーパッドの入力が必要なコール中に、キーを押すのが速すぎると、キーの一部が認識されない場合があります。



Cisco Unified IP Conference Station 7936 の技術仕様

この付録では、Cisco Unified IP Conference Station の技術仕様について説明します。

物理仕様と動作環境仕様

仕様	値または範囲
動作温度	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)
動作時の相対湿度	20 ~ 85% (結露しないこと)
保管時の温度	-30 ~ 55°C (-22 ~ 131°F)
高さ	31.5 cm (12 1/2 インチ)
幅	30.2 cm (12 インチ)
奥行	5.7 cm (2 1/4 インチ)
重量	0.8 kg (1 3/4 ポンド)
電源	<ul style="list-style-type: none"> AC/DC アダプタ (100 ~ 240 V~, 50 ~ 60 Hz、500 mA) 電源インターフェイス モジュール (PIM) 国別電源コード (発注可能)
利用可能な会議室	6 m × 9 m (20 フィート × 30 フィート) (外部マイクロフォン使用時)
音声周波数範囲	300 ~ 3500Hz (狭帯域サポート)
音量	0.5 m で 86.5dB
ケーブル類	<ul style="list-style-type: none"> 6 フィート CAT 5 ケーブル 1 本 25 フィート CAT 5 ケーブル 1 本
所要ケーブル長	イーサネット仕様によってサポートされているように、各 IP Conference Station は、ワイヤリング クローゼットから 100 m (330 フィート) 以内に設置する必要があります。

ケーブル仕様

- キー付き RJ-45 プラグ。25 フィート CAT 5 ケーブルを IP Conference Station ユニットの底面に接続。
- キー付き RJ-45 プラグ。25 フィート CAT 5 ケーブルを PIM に接続。
- RJ-45 プラグ。6 フィート CAT 5 ケーブルを PIM に接続。
- PIM に装備された電源接続用の 30 ボルト電源コネクタ。



安全上の警告の各国語版

Cisco Unified IP Conference Station 7936 を正しく設置するために必要な安全上の警告の各国語版については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』を参照してください。

『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』は、次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm



D			
DHCP			
使用可能または使用不可にする	3-10		
Diagnostics			
Ping	4-4		
H			
HTTP ポート			
設定	3-20		
I			
IP Conference Station			
IP 設定値の指定	3-11		
LED	2-23		
TFTP オプションの設定	3-17		
VLAN オプションの設定	3-16		
Web インターフェイス	3-44		
外部マイクロフォン	2-13		
管理者オプション	3-2		
管理者パスワードの変更	3-31		
キーボード コマンド	2-25		
技術仕様	A-1		
起動プロセス	1-6, 2-17		
機能	2-22		
		ケーブル接続	A-2
		サポートされる機能	1-4
		サポートされるネットワークング プロトコル	1-2
		システム設定値の確認	3-4
		自動登録	2-4
		手動追加	2-6
		図	2-13
		設置手順	2-15
		設置の概要	2-9
		設置の準備	2-2
		設置の要件	1-8
		トラブルシューティング	4-1
		ネットワーク設定値へのアクセス	3-9
		ファームウェア バージョンの確認	3-21
		物理的接続	1-5
		ローカル ディレクトリの設定	3-40
		ローカル設定の消去	3-23
		IP アドレス	
		DNS サーバの割り当て	3-16
		サブネット マスクの割り当て	3-13
		設定	3-11
		デフォルト ゲートウェイの割り当て	3-14
		ドメイン名の割り当て	3-15
		割り当て	3-12

L

LDAP(Lightweight Directory Access Protocol) 3-37

LED

ステータス インディケータ 2-23

M

Meet-Me 会議 3-42

S

System Information

LCD から表示 3-4

設定値 3-4

T

TFTP オプション

TFTP サーバの割り当て 3-17

設定 3-17

代替 TFTP サーバの割り当て 3-18, 3-19

V

VLAN オプション

管理 VLAN 3-6

設定 3-16

補助 VLAN 3-16

W

Web インターフェイス 3-44

Web ページ

Diagnostics 3-53

Phone Book 3-49

Setup 3-48

Sounds 3-51

System Information 3-46

Time & Date 3-52

管理者が行う設定 3-46

あ

アプリケーション ロード

アップグレード 3-29

メッセージ 3-30

安全上の注意事項 2-10

翻訳版 B-1

か

外部マイクロフォン 2-13

管理者オプション

Admin Setup 3-2

Change Passcode 3-3

Diagnostics 3-3

HTTP Port Change 3-3

Network Setup 3-2

Restore Defaults 3-3

き

キーボード コマンド 2-25

企業ディレクトリ

使用方法 3-37

- 技術仕様
 - ケーブル仕様 A-2
 - 動作環境 A-2
 - 物理的環境 A-1
- 起動プロセス 1-6

- こ

- コール ピックアップ 3-43
- コール転送 3-42
- このマニュアルの使用方法 x

- さ

- 最適なパフォーマンス 2-18

- し

- 自動登録 2-4
- 仕様
 - ケーブル A-2
 - 物理的環境および動作環境 A-2

- す

- 図 2-13

- せ

- 設置
 - 確認 2-17
 - 手順 2-16
 - ネットワークとの接続 2-13

- ネットワーク要件 2-9

- そ

- ソフトキー 2-24

- た

- 対象読者
 - このマニュアル ix

- て

- 電話帳
 - エントリの削除 3-50
 - エントリの追加 3-40
 - エントリの編集 3-41
 - 使用方法 3-40
 - 設定 3-40

- と

- トラブルシューティング
 - DTMF 遅延 4-6
 - LCD 画面メッセージの表示 4-5
 - Ping の使用 4-4
 - 音声品質 4-5
 - ダイヤル音 4-5
 - 呼び出し音 4-5
 - リセット 4-6

ね

ネットワーキング プロトコル

CDP 1-2

DHCP 1-2

IP 1-3

IP Conference Station でサポートされる 1-2

RTP 1-3

SCCP 1-3

TCP 1-3

TFTP 1-3

UDP 1-4

VoIP 1-4

ネットワーク設定値 3-9

ネットワーク要件 2-9

ろ

ローカル設定の消去 3-23

は

パフォーマンスのガイドライン 2-18

ひ

表記法

このマニュアルで使用される xx

ふ

ファームウェア バージョン

確認 3-21

設定 3-7